

官報

號外

明治三十五年一月二十二日

水曜日

印刷局

第十六回 帝國議會 衆議院議事速記第七號

明治三十五年一月二十一日(火曜日)午後一時七分開議

議事日程 第六號 明治三十五年一月二十一日
午後一時開議

- 第一 地租條例中改正法律案(菅野善右衛門)
(外七名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第二 蟲害地租特別處分法案(橋本久太郎)
(外三名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第三 市町村會議員及市參事會員ニ關スル法律案(田口卯二)
(名提出) 第一讀會
- 第四 治水制度調查會設置ニ關スル建議案(堀越寛)
(介提出)
- 第五 請願法制定ノ建議案(平岡萬次郎)
(外四名提出)
- 第六 工業試驗所ニ板硝子製造練習工場設置ニ關スル建議案
(根本正外)
(二名提出)

○議長(片岡健吉君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

(書記朗讀)

政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

害蟲驅除豫防法中改正法律案

警察署内ノ留置場ニ拘禁又ハ留置セラレ、モノ、費用ニ關スル法律案

第五回內國勸業博覽會參考館ヘ陳列ノ爲輸入スル貨物關稅免除ニ關スル法律案

(第一號)明治三十四年度歲入歳出總豫算追加案

(特第一號)明治三十五年度歲入歳出總豫算追加案

(追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

足尾銅山鑛毒處分ニ關スル件

提出者 箕浦 勝人君 安川 繁成君 平岡 萬次郎君

大村 和吉郎君 蓼沼 丈吉君

足尾銅山鑛毒ニ關スル件

提出者 箕浦 勝人君 安川 繁成君 平岡 萬次郎君

大村 和吉郎君 蓼沼 丈吉君

栃木外三縣ニ渡ル銅鑛毒被害ニ關スル件

提出者 鈴木 萬次郎君

山陰高等農林學校設置ニ關スル件

提出者 恆松 隆慶君

山陰道地方ニ對スル政府ノ施設方針ニ關スル件

提出者 恆松 隆慶君

北清事件ニ付從軍者以外ノ官公吏賞賜ニ關スル件

提出者 恆松 隆慶君

委員長理事左ノ適當選セラレタリ

特許法中改正法律案

委員長 江島 久米雄君

大藏省證券條例中改正法律案

委員長 大塚 常次郎君

議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

市町村會議員及市參事會員ニ關スル法律案

提出者 田口 卯吉君 前川 慎造君 雨森 菊太郎君

(左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

足尾銅山鑛毒處分ニ關スル質問書

右成規ニ據リ提出候也

明治三十五年一月二十日

提出者 箕浦 勝人 安川 繁成 平岡 萬次郎

大村 和吉郎 蓼沼 丈吉

贊成者 福島 一造

外三十三名

足尾銅山鑛毒處分ニ關スル質問主意書

第十四議會ハ、足尾銅山鑛毒被害地方人民ノ騷擾ハ一年ニ甚シキヲ以テ

調査委員會ヲ設ケ實地被害ノ程度ヲ審查シ相當ナル救済ノ實ヲ舉ケムコト

ヲ望ムト建議セリ爾來被害地方人民ノ紛擾一日ヨリ甚シ政府ハ之ニ對

シテ適當ノ救済處分ヲ爲スノ必要ヲ認メサル乎

右及質問候也

足尾銅山鑛毒ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

明治三十五年一月二十日

提出者 箕浦 勝人 安川 繁成 平岡 萬次郎

大村 和吉郎 蓼沼 丈吉

贊成者 福島 一造

外三十四名

足尾銅山鑛毒ニ關スル質問主意書

第一、政府ハ足尾銅山鑛毒豫防工事ノ現狀ヲ以テ完全ナル設備ナリト認ル

ヤ又タ鑛業人カ此豫防設備ヲ懈怠ナク運用シ居ルモノト認ムルヤ以上ノ

問ヲ解答スルニ當リ左ノ諸點ニ就テ明確詳細ナル説明ヲ求ム

一、各沈澱池、濾過池ニ依リテ除害處分ヲ要スル坑水攪鑛水脫硫水ノ一

時間ノ平水量ハ何程ニシテ最高水量ハ何程ナリヤ

二、現今設備ノ掛樋沈澱池濾過池等ハ前項ノ平水量若クハ最高水量ノ否吐除害ニ耐フルモノナリト認ムルヤ若シ是ヲ耐フルモノト認ムルトセハ各掛樋沈澱池濾過池ニ注入スル水量ト其面積トヲ對照シ詳細ナル說明ヲ與ヘラレタシ

三、沈澱池濾過池ハ冬季結氷ノ際其除害作用ヲ缺クトノ說アリ果シテ此ノ如キ事實アリト認ムルヤ

四、豫防命令書ニ據レハ沈澱池濾過池ハ各甲乙二箇ヲ設備シ甲乙交替ニ使用スヘシトアリ然ルニ現今ハ此相互交替使用ヲ爲シ居ラスト聞ク果シテ然ラハ除害作用ニ妨クル所ナキヲ得ルヤ

五、各沈澱池ニハ豫防上屋根ヲ要スルヤ否ヤ若シ是ヲ要ストセハ沈澱池ノ一部ニノミ是ヲ設置シ多數ノ沈澱池ニ之ヲ缺クハ如何ナル理由ナルヤ

六、鑛水流通ノ木樋ハ屢々破壊シ常ニ鑛水漏洩ノ事實アリト云フ果シテ斯ノ如キ事實ヲ認ムルヤ

七、小瀧ノ沈澱池ニ附屬シアル木樋ハ嘗テ流失シタル沈澱池ト同一ノ場所ニ設置セラレアリト云フ果シテ然ラハ又ミ洪水ノ際破壞流失ノ虞ナキニ非ラサルカ

八、降雨ノ際鑛水以外ノ雨水沈澱池、濾過池ニ注入スルノ事實アリト云フ此事實ハ除害作用ヲ妨クルコトナキヤ

九、通洞ニ在テハ攪拌水ニノミ石灰ノ攪拌ヲ行ヒ坑水ニハ之ヲ行ハスト云フ果シテ然ラハ除害作用ニ妨ケナシトスルカ

十、本山、通洞、小瀧ノ各沈澱池、濾過池ニ處理シツ、アル鑛水量ト攪拌石灰量トノ分量甚タ權衡ヲ得サル事實アリト云フ果シテ然ラハ除害作用ニ妨クル所ナキヤ

十一、沈澱池、濾過池設備以來之ニ依テ處理ノ後渡良瀬川ニ放水水中銅分其他有毒分子全ク之ナキヤ否ヤ若シ之レアリトセハ其分量何程ナリヤ工事完成以後現今ニ至ル迄ノ毎月ノ平均分析表ヲ以テ詳細ナル說明ヲ求ム

十二、(以上沈澱池、濾過池ニ關スル分)
足尾銅山ハ數百年前開坑シタルモノニシテ山中廢坑及ヒ作業場ノ放跡多キヲ以テ大雨山谷ヲ洗ヒ銅分ヲ含ミ水濱縱マニ渡良瀬川ニ流レ込ムモノ之ニ對スル除害設備ナキヲ以テ害ヲ下流ニ及ボスコト大ナリト云フ政府ハ此事實ヲ認ムルヤ否ヤ若シ之ヲ認ムルナラハ如何ニ之ヲ處理セント欲スルカ

十三、豫防命令書ニ依レハ脫硫塔附屬ノ煙突ハ地上八十尺ナルヲ要ストアリ然ルニ現存ノモノハ六十尺ナリト云フ除害作用上果シテ妨ケナキヲ得ルカ

十四、脫硫塔設置以來有害瓦斯排除ノ效率幾ナリヤ設置以來今日ニ至ル迄ノ分析表ヲ以テ詳細ナル說明ヲ求ム

十五、脫硫塔設置以來煙害波及區域ノ増減、附近山林植物發育ノ上ニ於テ見ルニ足ルヘキ結果アリヤ

十六、各先砂、泥渣、捨石、緩等ヲ處理スヘキ各堆積場ハ平時ニ在テハ安全ナリトスルモ洪水ノ際ニ在テハ決潰流失ノ虞ナキヤ若シ此虞ナシトセハ附近最高水點ヨリ幾千ノ高度ヲ保チ居ルヤ區別シテ詳細ナル說明ヲ求ム

十七、宇都野堆積場ノ如キハ實際適當ノ場所ニアラスト聞ク果シテ然ルヤ否ヤ

十八、現今各堆積場ニ堆積ヲ要スル緩、捨石、泥渣及ヒ先砂ノ數量ハ各大概一箇月ノ量幾ナリヤ又豫防工事以後各堆積場ニ堆積シタル數量大概幾ナリヤ又タ現今存在ノ各堆積場ハ將來何箇年分ヲ堆積シテ危險ナキ見込ナルヤ又タ將來現今ノ堆積場其用ヲ爲サハル場合ニ於テハ使用ニ耐フヘキ豫定地アリヤ

十九、高原木ノ堆積場ニハ長サ略二十間幅一間餘ノ溝渠アリテ平時ハ其用ニ耐フヘキモ降雨及出水ニ際シテハ流毒ノ虞アリト聞ク果シテ斯ノ如キ事實アリヤ

(以上脫硫塔及ヒ堆積場ニ關スル分)
二十、護岸砂防工事ハ一タヒ政府ノ命令ニ依リテ之ヲ設備ヲ爲シタルモ其後風水ノ爲メニ多ク破壞シ今日其用ヲ爲サハルモノ多シト云フ果シテ斯カル事實アリヤ

二十一、鑛山ハ政府ノ命令ニ基キ砂防ノ爲メ其鑛區附近ノ山林ニ對シ植樹其他ノ砂防工事ヲ施行シツ、アリト云フ果シテ其目的ヲ達スヘキ見込アリヤ且ツ現今ノ成績如何

二十二、鑛山ハ豫防設備ノ保全及其應用ヲ怠ルコトアリト云フ果シテ斯カル事實アリヤ

二十三、鑛山ハ如何ナル規矩機關ノ下ニ豫防設備及ヒ其運用ヲ管理シツツアルヤ

二十四、豫防工事設備以後政府ハ如何ナル手段方法ニ仍テ其監督ヲ爲シ居ルヤ尙現今ニ至ル迄ノ經過ヲハ詳細說明アリタシ

二十五、足尾銅山ノ稼行ハ三百年ヲ經テ今日ニ至リタリト云フ然ラハ古來採鑛冶金ノタメニ生シタル泥渣、先砂、緩、捨石等ハ如何ニ處理セラレタリヤ又タ是等ノ鑛毒流下ニ對シテハ如何ナル防備ヲ施コシタルカ

二十六、渡良瀬川ノ河床ニ存在スルト稱スル鑛毒ハ現時河流ノ何レノ部分ニ實在スルカ其量積及ヒ性質等概略說明アリタシ

第二、明治三十年ニ於テ被害地ニ對シテ免租處分ヲ行ヒタル地積及ヒ今日已ニ滿期トナリタルモノ、地積何程ナリヤ又タ已ニ滿期トナリタルモノニ對シ更ニ繼續免租ヲ行フヘキ必要ナキヤ若シ必要ニシトセハ該地ハ已ニ被害復舊シタルモノト認メタリヤ果シテ復舊シタルモノト認ムルトセハ如何ナル事實理由ニ依リテ之ヲ認メタルカ且ツ又タ免租期內ノ地所モ漸次復舊シツ、アル事實ヲ取調ヘタルコトアリヤ若シ之レアリトセハ其結果如何最モ詳細ナル說明ヲ求ム

第三、政府ハ渡良瀬川流域ノ洪水及ヒ洪水ニ伴フ鑛毒ノ瀰蔓ヲ防クカメニ治水事業ヲ設計計畫シタルコトアリト云フ該設計ニ付詳細ナル說明ヲ求ム政府ハ此設計ヲ爲シナカラ爾來何故ニ其工事ノ著手計畫ヲ爲サザリシヤ

第四、政府ハ被害地原狀復舊救済ニ對シ如何ナル方法手段ヲ以テ其目的ヲ達シ得ヘキ見込ナルカ詳細說明アリタシ

第五、渡良瀬川流域ニ沿フテ居住セル人民中、鑛毒ノ爲メニ著シク健康ヲ害ナルモノアリト云フ政府ハ此點ニ對シ調査シタルモノアラハ之カ詳細ナル説明ヲ求ム

第六、政府ハ足尾附近山林ノ荒廢ヲ救ハシカ爲メ三十年以後植樹ヲ爲シ防火線ヲ設ケ保安林ノ編入ヲ爲シタルト云フ其施設ノ概要及ヒ其效果ノ説明ヲ求ム

第七、政府ハ嘗テ免租シタル田畑以外ニ鑛毒被害地アルヤ否ヤヲ調査シタルコトアリヤ若シ之アリトセハ其結果如何

第八、政府ハ被害民中被害ノ爲メ全ク其財産ヲ蕩盡シ衣食ノ資ニ窮シテ流離困頓ノ境涯ニアルモノ幾干アルヤヲ取調ヘタルコトアルカ若シ之アリトセハ其結果如何

右及質問候也
栃木縣外三縣ニ渡ル銅鑛毒被害ニ關スル質問書
右成規ニ據リ提出候也
明治三十五年一月二十一日
提出者 鈴木萬次郎 贊成者 蓼沼丈吉 外三十二名

第一、政府ハ栃木、群馬、埼玉、茨城ノ四縣ニ渡ル銅鑛毒被害ニ對シ有限地租免除ノ如キ已ニ施シタル處分ヲ以テ十分ナリト認ムルヤ

第二、政府ハ曩ニ第十四議會ニ於テ本院カ建議シタル鑛毒調査會ノ設置ヲ不必要ナリト認ムルヤ

第三、政府ハ調査會ノ必要ヲ認ムル場合ハ如何ナル種類ノ人ヲ以テ組織シ何レノ時ニ於テ之ヲ著手スルカ

第四、政府ハ今日マテ鑛毒被害地住民ノ體內ニ鑛毒ハ毫モ侵入セサルモノト認メ來リシヤ

第五、政府ハ鑛毒ヲ人身內ニ攝收スルモ衛生上無害ナリト認ムルヤ

第六、政府ハ銅分含有ノ飲食物ヲ長年月間攝收スルモ醫學上慢性銅中毒ナルヲ證明セサル限リハ衛生上何等取締ノ必要ナシト認ムルヤ

右質問ニ及ヒ候也
山陰高等農林學校設置ニ關スル質問書
右成規ニ據リ提出候也
明治三十五年一月二十一日
提出者 恆松隆慶 贊成者 野尻岩次郎 外三十四名

山陰高等農林學校設置ニ關スル質問主意書
山陰高等農林學校設置ノ建議ハ曩ニ第十四帝國議會衆議院ニ於テ全會一致ヲ以テ是ヲ可決シ政府モ亦是ニ同意ヲ表シタル所ノモノナリ然ルニ第十六帝國議會ヲ開クノ今日ニ至テ政府ハ未タ何等ノ施設スル所アラサルハ何ソヤ本員等ヲ以テ是ヲ見レハ政府ハ山陰道ニ關スル諸般ノ施設經營ニ對シテ常ニ殷誠ヲ缺キ往々等閑ニ付シ去ルノ感ナキ能ハス特ニ其高等農林學校ノ設置ヲ冷眼ニ看過シ以テ今日ニ至ルカ如キハ最モ遺憾トスル所ナリ抑山陰道諸縣ハ之ヲ普通教育ノ上ニ視ルニ概シテ市町村一般意ヲ教育ニ致ス

ト又教員等ノ熱心誠意其職務ニ盡瘁スルトニ因リ其發達進步ノ狀況ハ他ノ府縣ニ比シテ多ク遜色アルヲ見ス然ルニ高等教育ニ至リテハ其施設ノ完キヲ得サルカ爲メニ萎靡トシテ振作ノ運ニ向フ能ハスハ是實ニ文教開發人才養成ノ上ニ於テ山陰道ノ不幸ヲ鳴ラサルヲ得サル所以ナリ竊ニ一帶ノ山脈ヲ踰ヘテ腹背ヲ相成セル山陽道地方ニ比較スルニキハ政府ノ著眼頗ル偏歛スルカ如キ觀アリ第十四議會以來政府ハ各地方ニ於テ諸種ノ高等學校設立ノ計畫ヲ爲シタルモノ尠カラズ然シテ獨リ山陰高等農林學校ヲ等閑ニ付シ殆ト措テ顧ミサルハ其理由果シテ安クニ存スルヤ若シ幸ニ山陰地方ヲ冷眼視スル者ニアラストセハ宜シク速カニ其施設ヲ進メラルヘキモノナリト信ス政府ハ今後何ノ時限ニ於テ其設立ノ計畫ヲ爲スカ明確ナル答辯ヲ求ム

理由書
國運ノ發展ニ伴ヒ教育上各般ノ施設益々其急要ヲ見ルハ言ヲ俟タス之カ施設ノ要ハ宜シク地方ニ鑑ミ民狀ニ察シ以テ之ヲ布置セサル可カラス山陰道ハ其地勢民狀ニ視ルニ今日ノ急務トスル所ハ概シテ農林業ノ發達ヲ計ルニ在リ故ニ山陰道ニ於テ一箇ノ高等農林學校ヲ設置シ賴テ以テ農林業ニ關スル智術ヲ開發シ併テ全道ノ生産ヲ興サント期スルハ全道ノ希望ニ屬ス然ルニ目今ノ狀況ヨリ之ヲ言フトキハ鐵道ノ便ヲ缺キ道路ノ交通全カラズ之カ爲メニ高等教育ヲ受ク可キ學校所在地ニ至ルニハ其不便言フ可カラス乃チ特ニ本道ノ爲メニ此高等教育機關ヲ設クルノ必要アル所以ナリ勿論商業工業水産等ニ關スル各種高等教育機關モ漸次之ヲ設スルノ必要アリトイヘトモ先ツ其急ナルモノヨリ之ヲ設クルトセハ高等農林學校ヲ以テ最モ其急切ナルモノト謂ハサル可カラス是ヲ以テ第十四議會ニ於テ建議ヲ可決シ政府ノ同意ヲ得タルモノナリ然ルニ政府ハ今日ニ至ルモ猶ホ何等ノ豫定ヲモ立テサル者ノ如シ是レ何等ノ理由ニ因リテ然ルカ政府ハ第十七議會若クハ或時期ニ於テ之ヲ施設計畫スル考ナルヤ否ヤ敢テ質問書ヲ提出シテ政府ノ意嚮ヲ明確ニセシコトヲ希望ス

山陰道地方ニ對スル政府ノ施設方針ニ付質問主意書
右成規ニ據リ提出候也
明治三十五年一月二十一日
提出者 恆松隆慶 贊成者 野尻岩次郎 外三十四名

一、山陰縱貫線及廣濱鐵道ノ件
我邦ノ鐵道ハ年々延長シ歲々普及シ今ヤ北海ノ曠野九州ノ率濱ニ至ルマテ其開通ヲ見ルニ及ヘリ然ルニ山陰道ニ在テハ纔カニ丹州ノ一端ニ於テ私設鐵道ヲ見ルニ過キシテ全道ノ交通機關ハ殆ント其施設ヲ缺クモノト謂フ可シ特ニ島根縣ノ如キハ陸ニ鐵道ナク海ニ完備ナル港灣ナク交通機關ノ不備ハ實ニ其極ニ達セリ隨テ其商業工業ノ振ハサルコト僅ニ一帶山脈ヲ隔ツル山陽道ニ比シテ數世紀ヲ異ニスルノ觀アリ山陰縱貫線中島取縣境港ヨリ米子鳥取ヲ經テ姫路ニ出ツルノ姫島線ハ十四議會ニ於テ其豫算ヲ發表シ已ニ

一昨年來其工事ニ著手シタルヲ以テ數年ナラスシテ之カ開通ヲ見ル可シト雖モ然レトモ僅カニ七八里ヲ距ツル島根縣松江市迄之ヲ延長セサルハ何ツヤ境港ハ島取縣ニ屬スト雖モ此處ニ聚散スルノ貨物ハ大抵皆松江市ニ關セサルナク松江市ト境港トハ其盛衰互ニ相繫ル蓋シ松江ハ山陰道ノ中樞ニ位シ其交通ノ便否ハ此地方ニ於テ相關係スルコト至大ナリトス米子松江間ハ平坦ノ地ニシテ此鐵道ヲシテ松江迄延長セシムルモ其工事ハ容易ナルヘシ而シテ米子ヨリ松江ヲ經テ濱田ニ通スルノ線路或ハ山口縣下ヨリ津和野ヲ經テ濱田ニ出ルノ線路ハ其敷設俱ニ急速ヲ要スルコト言フ待タス然ルニ政府ハ今日ニ至ルマテ未タ其實測ヲモ行ハサルハ何ツヤ濱田港ハ既ニ第五師團第二十一聯隊ノ營所トナリ又特別輸出港タリ實ニ日本海航運ノ要港ニシテ其聚散ノ貨物夥カラス其將來顯著ナル開港場タラントスルハ衆目ノ俱ニ認ムル所ナリ蓋シ濱田ノ港灣タル繞ラスニ丘山ヲ以テシ能ク外海ノ風濤ヲ避ク可ク一タヒ此灣内ニ入レハ宛モ湖上ニ坐スルノ感アリ是ノ若キ天造ノ良港タルニ拘ラス其交通ノ不備ナル有様ヲ言ヘハ目下大阪商船會社ノ小汽船力纜カニ定期ノ航海ヲ爲スニ過キス此航海船モ郵便船ニアラサルカ故ニ其航程極メテ不定ニシテ冬季航海ノ如キハ天候險惡ノ爲メ碇泊數日ニ亙ルコト亦コレアリ濱田ヨリ馬關ニ至ルニ五日間ヲ費シタリト云フカ如キ決シテ珍シカラス其海路交通ノ不便是ノ如キヲ以テ明治三十七八年戰役ノ時近クハ北清事變ニ際シテモ二十一聯隊ノ出征スルニ及ヒ陸路三千里ヲ三日ヲ費シテ廣島ニ出テタルカ如キ文明ヲ以テ東洋ニ稱スル我帝國ニ内ニ此地方アルカヲ疑ハシムル程ナリ濱田ト廣島トハ軍事上頗ル密接ノ關係ヲ有スルニ拘ハラス廣濱間鐵道ノ計畫未タ之ヲ見ルニ及ハス東洋ニ事アル場合ハ第五師團カ先ツ出征スルコトハ近キ兩回ノ清國事件ニ見テ明カナルニ其最モ肝要ナル交通輸運ノ不便斯ノ如クナルハ誠ニ國家ノ大ニ遺憾ニ能ハサル所ナリ政府ハ軍事上ニ商業上ニ一般ノ交通上ニ之ヲ視テ宜シク速カニ此方面ニ於ケル鐵道開通ヲ計ル可キ筈ナルニ猶ホ之ヲ冷眼ニ看過スルハ何ツヤ右縱貫線ニ關シテハ島根縣民ハ屢々請願書ヲ呈出シ又廣濱鐵道一期線路上ニ付テハ曩ニ第十二議會ニ於テ建議ヲ提出シタルニ拘ハラス今日ニ及フモ猶實測ヲモ爲ササルハ殆ト其何ノ理由タルヲ知ル能ハス今期議會ニ提出サレタル豫算ニハ鐵道線路調査費ナルモノヲ置キ四ヶ年間繼續費トシテ要求サレタルカ本質問ニ揭グル部分ノ如キ之ヲ以テ其調査ヲナシ及ヒ其施設ニ著手セラルルコトト信スレトモ其計畫順序等ハ如何

一郵便電信局増設ニ關スル件

山陰道地方ノ如キ鐵道ノ未開通セサル僻邊ニ在リテハ郵便電信ニアラサレハ用務ヲ辨スル能ハス然ルニ山陰道中特ニ島根縣ノ如キハ郵便局又ハ電信局ノ設置極メテ少ク集配ノ區域廣キニ過グルヲ以テ縣令或ハ郡役所達書ノ如キモ或町村ニ依リテハ三日間ヲ要スルアリ地方ニ於テ發刊スル新聞紙ニシテ反テ中央ノ新聞紙ヨリモ後レテ到著スルコトアリ偶々非常ノ事故アリテ電信ヲ發セント欲スルトキハ草鞋ヲ穿テ六七里ノ道途ヲ踏マサレハ其目的ヲ達スル能ハス地方人民一般ニ苦情ヲ鳴ラス所ニシテ其増設ヲ請フノ願書ハ每議會ニ提出シ本員モ第八議會以來屢々此件ニ就テ政府ニ質問シ或ハ之ヲ當局ニ陳情セリ其後若干ノ増設ヲ得テ昔日ノ如クナラスト雖トモ廣ク

公衆ノ便利ヲ爲ス迄ニハ猶ホ遙カニシテ一般人民ノ不幸言フ可カラス依テ此交通不便ノ地方ニ於テハ人口其他ノ例ニ據ラス或特殊ノ施設ヲナシ三十五年度及其後ニ於テ猶幾分ノ増設アラントヲ要ス政府ハ此點ニ就イテ如何ナル方針ヲ取ラハヤ

一區裁判所出張所増設ノ件

島根縣ハ登記所ノ數至テ少ク僅カニ十圓ノ貸借又ハ一畝ノ山林田畑ヲ賣買譲與スルニモ七八里ノ地ニ泊リ掛ケニテ赴カサルヲ得ス些細ノ登記ヲ求ムルニモ無益ノ費用ヲ要スルノミナラス冬季ノ如キハ積雪ヲ踏テ數里外ニ出テ時ニハ雪ノ爲メニ道路閉塞シテ其用務ヲ辨スル能ハサルコトアリ民法實施後ハ一層其困難ヲ感スル所ナリ但シ請願等ノ結果トシテ近時若干ノ増設ヲ見ルヲ得タルモ尙縣下ニ於テ五六箇所ノ増設ヲ必要ナリトス此問題ハ獨リ島根縣ノミニアラス他府縣ニモ亦コレアラシ政府ハ今後之ニ對シテ如何ナル計畫ヲ採ルカ

一港灣法制定ニ關スル件

四面環海ノ國大ニ航海ヲ以テ隆興スヘキ我帝國ニ在テハ港灣ニ關シテ詳細ナル調査ヲナシ港灣法ナルモノヲ制定シ以テ其修築スヘキモノハ著々之ヲ修築スルハ今日ニ於テ一日モ忽諸ニ付ス可カラサルノ要務ナリト信ス所謂五港ノ如キモ其盛況ヲ致シタル所以ノモノハ皆之ニ修築ヲ施シ或ハ埋立ヲナシ或ハ防壁ヲ築キ幾多ノ人力ヲ加ヘテ以テ良好ナル港灣トナシタルモノニ外ナラス島根縣ノ如キハ出雲石見二國沿岸七十餘里ニ延長シ且ツ隱岐國ヲ海上ニ控シ大船巨舶ヲ繫泊ス可キ幾多ノ港灣有シ日本海ニ瀕シテ將來航行ノ要衝トナル可キモノ亦コレアリ然レトモ猶修築ヲ加ヘサルカ爲メニ風浪ヲ避ケ繫泊ヲナスニ於テ其不完全ヲ免カル、能ハス往々難破ノ危厄ニ罹ルハ遺憾ノ至リ謂ハサル可カラス今其調査ヲ精密ニシテ修築ヲ加ヘタルニハ商工業ノ發達ハ勿論總ヘテノ進步ニ於テ大關係ヲ有スル島取島根ノ疑ハス近著舞鶴港カ軍港トナリシニ就テハ之ト大關係ヲ有スル島取島根ノ瀕海ニ於テ將來軍艦及水雷艇ノ寄港ヲ要スルハ勿論漁船ノ避難所トシテモ必ス港灣修築ノ必要アルヲ認ム然ルニ港灣法ノ制定ナキカタメニ地方ノ負擔ヲ以テ其改修ヲナスカ否ラサレハ或他ノ方法ヲ求メサルヲ得スシテ竟ニ其修築ノ前期ナキヲ見ル今ヤ鐵道ニハ鐵道布設法アリ河川ニハ河川法アリ各其一定ノ方針ト施設ノ方法トヲ具在ス然ルニ港灣ニ對シテ一定ノ制法ナキハ一大缺漏ニハアラサル乎政府ハ港灣ニ對シテ如何ナル方針ヲ持シ又其制法ヲ定メントスルヤ否ヤ

理由

右四件政府ノ答辯ヲ求ムルカタメ及質問候也

本質問ノ理由ハ本文ニ明カナルヲ以テ之ヲ略ス

北清事件ニ付從軍以外ノ官公吏等賞賜ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

明治三十五年一月二十一日

提出者 恆松 隆慶

贊成者 內藤 守三

北清事件ニ付從軍以外ノ官公吏等賞賜ニ關スル質問主意書

外三十四名

一昨年北清事變ニ際シ第五師團管內ハ動員命令ニ依リ出兵シ其從軍者中戰

功アリタル者ニハ明治二十七八年戰役從軍者ト同シク敘勳並ニ賞賜ヲ被リタルハ洵ニ清代ノ盛事タリ二十七八年戰役ニハ從軍者以外ノ者即チ内國ニ於テ是等ノ事務ニ關掌シタル諸官衙ノ吏員又ハ郡市町村長等ニ至ルマデ各賞賜敘勳又ハ賞杯等ヲ下賜セラレタルカ北清事件ニ關シテモ亦前日ノ如キ賞賜ヲ被ル可キ乎或ハ北清事件ニ關シテハ第五師團管下ニ限リ勳員アリタルニ止マリ其出征命令ヲ被リタル軍隊ニノ賞賜セラレ勳員事務ニ映掌シタル官公吏ニ對シテハ是等ノ賞賜ナキモノナルヤ第五師團管下ノ如キハ一般ノ官公吏特ニ師團聯隊所在地ノ郡市町村長並ニ出兵行軍ノ時軍隊宿泊地ノ當局吏員ノ如キハ奉公ノ誠ヲ抽キ非常ノ勤務ニ從事シタル次第ナレハ二十七八年戰役ノ時ト同シク是等一般ノ官公吏等ニ各相當ノ賞賜アルヘキモノト信スレトモ今猶其事アリシヲ開カス政府ノ之ニ對スル方針如何右及質問候也

理由ハ本文ニ明白ナルヲ以テ別ニ之ヲ述ヘス

○議長(片岡健吉君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、請暇ノ件ニ附イテ諸君ニ御諮リ致シマス、四宮有信君病氣ノ爲メ今二十一日ヨリ五週間ノ請暇、篠民三君病氣ノ爲メ今二十一日ヨリ三週間ノ請暇、金尾稜嚴君公務ノ爲メ今二十一日ヨリ十五日間ノ請暇、伊藤直純君病氣ノ爲メ今二十一日ヨリ二週間ノ請暇、出水彌太郎君病氣ノ爲メ今二十一日ヨリ二週間ノ請暇、鹽路彦右衛門君病氣ノ爲メ今二十一日ヨリ二週間ノ請暇、小栗貞雄君病氣ノ爲メ今二十一日ヨリ四週間ノ請暇、大塚成吉君病氣ノ爲メ今二十一日ヨリ十日間ノ請暇、吉岡直一君病氣ノ爲メ今二十一日ヨリ二週間ノ請暇、東長三郎君病氣ノ爲メ今二十一日ヨリ十日間ノ請暇、大東義徹君病氣ノ爲メ今月十六日ヨリ三週間ノ請暇、武私宜路君病氣ノ爲メ今二十一日ヨリ十一日間ノ請暇、今村千代太君病氣ノ爲メ今二十一日ヨリ二週間ノ請暇、麻生太吉君病氣ノ爲メ今二十一日ヨリ二週間ノ請暇、各請暇願フ許可シテ御異議アリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ許可スルコトニ致シマス

○鈴木萬次郎君(三十八番) 議長

○議長(片岡健吉君) 鈴木萬次郎君

(鈴木萬次郎君演壇ニ登ル)

○鈴木萬次郎君(三十八番) 私ハ唯今報告ニナリマシタ、栃木縣外三縣ニ渡リマスル銅鑛毒ニ關係致シマスル質問書ヲ提出致シマシタ、就キマシテハ其質問書ノ趣意ヲ茲ニ陳述致シマス、其各項ヲ申シマスレバ、第一ハ政府ハ栃木群馬埼玉茨木四縣ニ渡ル銅鑛毒被害ニ對シ有限地租免除ノ如キ既ニ施シタル處分ヲ以テ十分ナリト認ムルヤ、第二政府ハ曩ニ第十四議會ニ於テ本院建議シタル鑛毒調查會ヲ必要ナリト認ムルヤ、第三政府ハ調査會ノ必要ヲ認ムル場合ハ如何ナル種類ノ人ヲ以テ組織シ何レノ時ニ於テ之ヲ著手スルカ、第四政府ハ今日マデ鑛毒被害地住民ノ體內ニ鑛毒ハ毫モ侵入セザルモノト認メ來リシヤ、第五政府ハ鑛毒ヲ人身内攝收スルモ衛生上無害ナリト認ムルヤ、第六政府ハ銅分含有ノ飲食器ヲ長年月間攝收スルモ醫學上慢性銅中毒ナルヲ證明セサル限りハ衛生上何等取締ノ必要ナシト認ムルヤ以上此六箇條ノ質問デゴザイマス、諸君、此問題ハ永年ノ間當議會ニ於テ、屢、諸君ノ耳底ヲ動カ

シ、心ヲ動カシ、目ヲ動カシ、御同意ヲ得マシテ、第十四議會ニ於キマシテ調査會設置ノ建議案ト爲リマシテ其解決處分ヲ望ミマシタ所ノ問題デゴザイマス、然ルニ何故デゴザイマセウカ、當路者ノ心ヲ動カスコトガ出來ズ、此建議案通過以來茲ニ二箇年、依然トシテ其儘ニ放置サレ、更ニ顧ル所ト爲ッテ居リマセヌ、ソレ故ニ今日私ガ又茲ニ喋々セナケレバナラヌ場合ニ立至リマシタ、申スマデモナイコトデゴザイマスレドモ、此問題ヲ一日放置シテ置キマシタナラバ、一日ダケツレダケ被害民ノ涙ヲ多クシ、飢渴ヲ多クシ、病ヲ多クシ、而シテ其生命ヲ少カラシムル所ノ問題デゴザイマス、顧ミマスレバ此問題ガ出マシテ以來茲ニ殆ト十年餘、内閣ノ更迭幾度カデゴザイマシタラウ、或ハ人ニ依リ時ニ依リ、此問題ニ對シマシテ、施設致シマシタコトガデゴザイマセウケレドモ、翻ッテ今日カラ之ヲ見マスレバ、多クハ姑息、甚シキ不完全デアアルト云フコトヲ免レナイ、其姑息不完全ノコトニテモ遺ッテ吳レナイ所ノ内閣ガ多イ、大臣次官局長總務長官、皆是レ豫算ノ編成各省ノ要求提出撤回、議會ノ駁引線縱ナゾト云フコトニ日モ尙ホ足ラズ、兩院通過致セバ殆ト百事終レリダ其餘ハ各省ニ割據シテ法律命令ト首引ラスル外、人民ノ利害休戚ハ問フ所ニアラズ、十餘萬ノ被害民飢ニ泣キ病ニ泣クモ、木官ノ知ル所ニアラズト云フガ如キ有様ガ、多少アリハ致シマスマイカ、想フニ不祥ナル申分カハ知レマセヌケレドモ、彼レ鑛毒地ノ人民ハ口ニコソ申シマセヌデゴザイマセウケレドモ、彼等ノ心中ニハ明治ノ昭代、憲法政治ノ下杯ト云フモノハ、甚ダ難有カラヌモノデアアルト感シテ居ルデゴザイマセウ、情ケナイモノデアアルト感シテ居ルデゴザイマセウ、私之ヲ聞キマスレバ、松平越中守樂翁公徳川幕府ニ執政中、彼ノ足尾銅山ヲ發掘致シマシテ、通貨ヲ鑄造シタト云フコトヲ聞イテ居リマス、十文錢ノ足ト云フ字ノ附イタノガアルサウニゴザイマス、是ハ即チ此銅山ニ於テ銅ヲ發掘致シタル場合ニ附ケラレタ所ノ印、錢デアアル、ソレ故ニ彼ノ錢ヲ以テオ足ト呼ブコトモ、是カラ始マッタト云フコトヲ承知致シテ居リマス、其時ニ矢張此銅毒ノ被害ガ田畑ニ及ビマスル所カラ、農夫ハ之ヲ訴出デタサウニゴザイマス、其時松平越中曰ク、ソレハ知ラナカッタ、百姓ニ對シテ誠ニ相濟マヌコトヲシタ、早速ニ之ヲ中止セヨト云フコトデア廢メタサウニゴザイマス、一國ノ重ヲ擔ッテ職ニ當ル人ハ、斯ノ如クアラネバナラヌコトデアアラウト思ヒマス、斯ノ如クアッテ人民ハ始メテ其政治ノ難有二感シマスデゴザイマセウ、然ルニ諸君、哀訴、嘆願、陳情、請願、幾度ナルヲ知ラズ、默シテ止マンカ止ムコトガ出來ズ、已ムヲ得ズ相傳ヘ相語ラヒ大舉シテ請願ニ出掛ケレバ、然モ人民ノ保護者デアアル、人民ノ保護者デアアル、警察官ガ警察官カラ途ニ擁セラレテ、打タレ、叩カレ、蹴ラレ、踏マレ、遂ニ捕ヘテ縛シテ牢獄ニ投ジテ以テ、暴徒デアアル、私ハ殆ト涙ノ垂ル、思デゴザイマス、斯ノ如キコトデア人民ガ有難キ感ガデゴザイマセウカ、寧ロ昔ノ徳川時代幕政ヲ慕フノ無理ナラヌコトヲ信ジマス、實ニ無慘千萬、否ナ御同様遺憾千萬ナコトデアルト存ジマス、私ハ四五年前デゴザイマシタ、佐野地方ハ參リマシテ、被害ノ狀況ハ稍承知シテ居リマシタ、又其後同地ノ模様ヲ聞キマシテ、其ハ大概ハ推知致シテ居リマシタ、併ナガラ近頃ノ有様ヲ深ク承知致シマセナシタカラ、去ル十五日議會ノ休暇ヲ幸ニ、上野カラ汽車ニ乘リマシテ、被害地ニ向ッテ出

發致シマシテ、古河ヨリ降りマシテ往ク往ク被害地ノ有様ヲ觀察致シマシタ、先ヅ群馬縣ノ海老瀨村カラト云フ積テ道ヲ取リマシテ、參リマスル道スガラ往タノ道ノ左右目ニ觸レマスル、道路ノ左右一帯ノ地ハ悉ク葎ノ林、蓬々タル葎ノ林、一點ノ青草ヲ見マセヌ、所謂野ニ青草ナキモノデゴザイマス、中ニハ偶々手入ラシタ田畑ハゴザイマスルガ、之ニ向ッテ肥料ヲ運搬スルノ農夫ガゴザイマセヌ、人家村落ニ近ツク頃、雞犬ノ聲モ聞キマセヌ、村ニ入ッテ見マスルト一人ノ行商ダモナイ、村内ニ腰掛茶屋ガゴザイマスガ、一箇ノ歇菓子ダモナイ、村社ニ若者ノ鼻唄ノ聲モ聞カナケレバ、目ニ觸ル、所ノモノ殆ド惘レナラザルモノナシ、偶々目ニ入ルモノハ、三四ノ憐ナル小兒ガ、破屋ノ前ニ日ノ暖キ所ニ集リ敷イテ、三人相集ッテ居ルモノヲ二三個見マシタ、其他ハ女ガ機織ルノガ耳ニ達スル外ニハ、殆ド見ルモノ聞クモノ悲惨ナラザルハナシ、此日ハ日和モ宜ウゴザイマシテ、風モナク寒氣モ弱ク、而モ一月ノ十五日、田舎ハ舊曆ダトハ申シマスケレドモ、物日デアル、其物日ニ此村ノ有様ヲ見マスルト、實ニ戰慄ヲ避ケテ其跡ヲ通ルノ思ガゴザイマス、戰慄ヲ避ケタル跡ノ村ヲ通ルノ思ガゴザイマス、所謂野ニ青草ナク民ニ菜色アリト云フヨリ外ノ感ハゴザイマセヌ、ソレカラ海老瀨ノ村役場ヲ訪ヒマシテ、種々聞見ヲ致シマシテ、三上、谷中、藤岡等ヲ通リマシテ、其夜ハ栃木縣ノ界村馬門ト云フ所ハ參リマシタ、道スガラ貧困者ヲ訪ヒ、成ハ病人ヲ見舞ヒ、若クハ診察ヲ致シマシタ、又到ル處ノ荒地モ目ノ届クダケ、注意ノ出來ルダケ見マシタ、葎ノ林能ク能ク之ヲ見マスレバ、多少元ハ畑デアルト云フ名殘ヲ止メテ居リマス、所謂畝ガ立ッテ跡ガゴザイマス、左様ノ有様デアル、左様ナ所ヲ數限モナク見マシテ、サウシテ其夜ハ栃木縣ニ入リマシテ、馬門ノ旅館ニ投ジマシタ、左様致シマスルト甲傳ヘ乙報ジテ、吾モ吾モト後カラ訪來ル人ガゴザイマシテ、八疊ノ座敷殆ド座スルニ狄キ思アル程來リマシテ、其訴ヘル所ノモノハ被害ノコトナラザルハナシ、其中ニ西本願寺ノ救濟會本部ノ派出員デアル松本布教師並ニ山本醫師外二三名、同シク來訪者ノ中ニゴザイマシタ、因テ私ノ重ナル目的デアル衛生上ノ談カラ、醫學上ノコトニ話ヲ及シマシテ、如何ナル種類ノ病人、如何ナル原因ノ病者ガドウデアル、銅ノ中毒症ノモノニ附イテハドウデアラウ、小用等ノ検査ハシタデアラウカト云フコトヲ問ヒマシタ所ガ、殆ド左様ナコトヲ致ス暇ガナイカラ、診タ藥ヲ與ヘタト謂フヨリ外ニ、今日マデハ致シマセヌト云フ、救濟會ノ醫員ノ答デゴザイマシタカラ、ソレハ酷イ、胸ガ苦シイ、腹ガ痛イ、何處ガ苦シイ、此處ガ疾シイ、唯ソレニ對シテ一應ノ藥ヲヤデ置タト云フコトハ、少シクオカシクハナイカ、何故ニ銅ヨリ起因シタモノデアルカドウデアアルカト云フコトノ、御調ヲ爲サラスカト云フタ所ガ、一應御尤デアアル、私共都門ヲ出ルトキニ、ドウカ左様ヲ檢索モ致シタイ、致スト云フ考デ參リマシタケレドモ、此方ヘ參リマシテ救濟スルト云フコトガ知レシマスレバ、ソレト同時ニ四方八方カラ、朝カラ晩マデ詰掛ケラレマシテ、手ヲ握リ藥ヲ與ヘルト云フコトスラ間ニ合ハヌト云フ有様デゴザイマシテ、ナカノ之ガ檢索試驗研究杯云フ暇ガゴザ

イマセヌカラ、ドウゾ明日アナタモ此救濟所ヘ御出ニナッテ、御覽下サレト云フコトデゴザイマシタ、成ル程尤ナ話デアル、ソレカラ其翌日ハ朝カラ私モ出マシテ、幾分カノ手傳ヲスル積デ覺悟ヲ致シテ寢ニ就キマシタガ、遅クマデ色々ノ話ヲ聞カセラレ訴ヘラレ、殊ニ同地ノコトデゴザイマスカラ、夜具食物等モ随分不適當ナタメニ、塞クハアリ胸苦シクゴザイマシテ、殆ド終宵半醒半眠ノ間ニ居リマシタタメニ、翌日ハ漸ク十時後ニ寢ヲ出タ次第デゴザイマス、ソレ故ツイ色々ナコトカラ遅クナリマシテ、午後ノ二時頃漸ク此診療所ヘ參ッテ見マシタ所ガ、門前宛モ市ノ如シト云フ有様デゴザイマシタ、先ヲ急ギマスケレドモ約束ヲ致シタモノデゴザイマスルカラ、未熟ナガラ集リ來ル患者ヲ二十名バカリ診察ヲ致シマシタ、其中ニハ眼病モアル、又多クハ腸胃ノ病、中ニハ脚氣ノヤウナモノモアルガ、今右カラ左ニ之ガ銅ノタメニ來タト云フ證明ノ出來ルモノハ、二十名中ニハ見マセヌガ、免ニ角疲勞、瘦衰ハ貧ニ迫ッテ來タ所ノ病氣ト云フコトノ證明ハ誰デモ出來ル、惡食ヲスルタメデゴザイマセウ、其カラ生活ヲ爲スタメデゴザイマセウ、眼病ニゴザイマシテモ、或ハ銅ノ毒ノタメニ來スノデハナイカト云フヤウナ話モゴザイマシタカラ、眼病人モ診察致シマシタガ、今日ノ「トラホーム」傳染性ノ病デアル、私モ矢張議論ハ議論デ致シマシテ、檢索試驗ト云フヤウナコトヲ考ヘマシタケレドモ、ソレヲスルノ暇ガナイ、今同地ニ於キマシテ從事シツ、ゴザイマスル西本願寺派出ノ救濟會ノ狀態、日誌ノ寫ヲ持參致シマシタカラ、其一斑ヲ知ルカタメニ茲ニ申述ベマス、此救濟會ハ十二月二十八日カラ始メシテ、ソレカラ今尙ホヤリツツアルノテゴザイマスガ、即チ三十日カラ始メテ居リマスガ、三十日ノ一部ヲ今茲ニ申シマスレバ、斯様ナコトガ書イテアル「本日ヨリ診察ヲ始メシモ已ムヲ得ザルモノ、外ハ投藥セザリキ之ハ藥局不備ノ爲メナリ、三十一日ニ本日施療院ヘ集リ來リシ患者總數率ネ百數十名中凡ソ診察ヲ終ヘシ者内外科十八名眼科二十名」イヤハ二十九日、日ヲ忘レマシタ、ソレカラ其翌日ガ内外科——三十日ガ六十九名眼科六十三名、三十一日大晦日ガ眼科新百十一人再來ガ二十三人内外科七十八人再來ガ十人、ソレカラ翌日ハ明治三十五年一月一日萬民新正ヲ賀シ一家相慶スルノ日、醫治ヲ施療院救濟會ノ門前ニ求ムル者、眼科百三十三人、内外科百一人、翌日ガ内外科新患者八十一人、舊患者七人、眼科新患者九十八人、舊患者十數人、此救濟會ハ政治上ニモ其他何ニモ關係ノナイ、眞ニ慈善ト云フコトヲ以テ見ルニ忍ビズシテ、來ッテ從事セラル、所ノ會デゴザイマス、讀續ケマスレバ悉ク斯様ナ有様ナラザルナシ、二人三人ノ醫者ガ派出シテ、殆ド二百名ニ近イ病人ヲ診察投藥致シマシタナラバ、成ル程朝來タ者ガ殆ド日ガ暮レル、此日記ヲ見マスルト朝ノ九時カラ或ハ八時カラ始メ、晩ノ九時ニ終ルト云フヤウナ有様デゴザイマス、而シテ今同地ノ醫者ノ營業ヲシテ居ル人ノ有様ヲ聞キマスルト、同地方ハアノ近傍ニ三名ノ醫者ガゴザイマシタ所ガ、内一名ハ昨年既ニ他郷ヘ轉ジ、殘ル二名ハ近日何處ヘカ往カネナラヌコトヲ、同業

者仲間ノ醫師ニ相談シタサウデゴザイマス、斯様ニ多數ノ病人ガアッテモ
土地ノ醫者ニ掛ッテ藥禮ヲ拂ヒヤウガナイノデアル、醫者モ病人ハアルケレド
モ、療治シテ藥禮ヲ取ルコトガ出來ナイノデアルカラ、醫者モ立チ切レズシ
テ追々ノ中ニ、三人ノ醫者モ一人モナクナッテシマウト云フ有様デアル、此日
記ハ速記録ニ掲ゲマス積デゴザイマスカラ、御參考アリタイト存ジマス、左
様ナ有様デゴザイマスデ、多クハ消化器ノ病衰弱ニアラズンバ、局所ノ病ハ
眼病デアル、故ニ人アリ銅ノ毒ノメニ病人ガ多クナッタト云フコトデハナ
イデハナイカ、之ヲ證明スルコトガ出來ヌデハナイカト云フヤウナ議論ガ、
尤ラシク唱ヘラル、ノデゴザイマスガ、成ル程醫者ガ申シマスル、或ハ藥物
書等ニ書イテアリマス、慢性ノ銅ノ中毒、鹹ニ銅ガクツ、イテ青クナル、肉
ハ瘦セ、神經ハ衰ヘル、心臟ノ鼓動ハ激シクナル、胸ハ痛ミ腹ハ瀉ルト云フ
ヤウナ者ハナイデゴザイマセウケレドモ、今日這入ッテ翌日這入ラヌカモ知
レヌ、先月マデ銅ヲ飲ンデ今月ハ銅ヲ飲ヌカモ知レヌ、這入ッテ出タリ又
止ンダリシテ居ル、何故ニ斯ノ如ク病人ガ多イノデアル、惡ルイ物ヲ食フカ
ラデモアラウ、惡ルイ物ヲ食フト云フ以上ニハ、日本全國ノ農家ハ悉ク惡ル
イ物ヲ食ッテ居ル、惡ルイ物ト云フテモ食物デアル、食物デナイ銅ト云フヤウ
ナ毒ヲ、偶々入レタ米俵ヲ積ンデ食ッテ居ルノデハナイ、今日ハ銅ヲ這入ッテ、居
ル米ヲ食フト、アスハ銅ノ這入ラナイ俵ヲ食フテ居ルカラ、今日ハ食ッテアス
ハ食ハヌカモ知レヌ、先月マデ飲ンデ今日飲ヌカモ知レヌケレドモ、確ニ
同地方ノ被害民ハ消化器ダケハ確ニ惡ルイ、往ッテ見ルト悉ク被害地ノ人
民ハ半病人デアルト云フコトハ、斷言スルヲ憚ラヌ、證明スルコトガ出來ナ
イカラ銅ガ人身ヲ害サナイ、衛生ニ差支ナイトハ決シテ言ハサヌノデアル、
其日診察ヲシマシテ二十人バカリヲ診リマシテ、同地ノ界村ノ學校ヲ見マ
シタ、小學校ヲ見マシタト云フモノハ、此學校ニ入ルノ兒童其健康ハ如何
デアル、彼等ノ眼ハ如何デアラウカト云フコトガ浮ミマシタカラ、小學校ヲ見
マシタ、往ッテ見マシタト百年前頃ニ——聞イテモ何時拵ヘタカ分ラヌト云フ
古寺、四箇村聯合デ三百人ノ生徒ヲ入レテ居リマスル所ノ寺ガ、稍々傾イテ
居ル古寺ノ本堂ト庫裡屋、光線ノ來ラザル壁ニ穴ヲ明ケ、板ヲ打附ケ紙ヲ貼ッ
テ明リヲ取ッテ居リマスル埃ダラケノ寺ダ、事務室ヘ這入ッタトキニハ、日和ガ
好ウゴザイマシタガ、中ヘ這入ッテモ薄暗クテ見エヌ位、ソレカラ教場ヘ往ッテ
見マシタト、教員教師ノ顔ヲ見ルノニ、前ニ大キナ柱ガアッテ脇ヲ向イテ
デナケレバ分ラヌト云フヤウナ生徒モアル、ソレカラ本堂ヲズツ見テ庫裡屋
ニザベタヲ歩ルイテ往ッテ見マシタト云フト、裏板ガナイ、殊ニ庫裡屋ハヒド
イ、茲ニ頭是ナイ無邪氣ナル憐ナリ子供ガ、床ノ隙ノアル所デハナイ隙ダラ
ケ、節穴ダラケノ風ノ縱橫無盡ニ這入リマスル、埃ダラケノ不潔ノ所ニ相立ン
デ教授ヲ受ケテ居ル、近ク新聞紙上デ見マシテ、私ノ縣ノ梁川ノ少女ガ臨終
ノ際ニ兩親ニ遺言ヲシテ、學校ニ居ッタトキニ床ノ隙間カラ風ノ來ルト云
フコトヲ記憶シテ居リマシテ、斯様ノコトノナイヤウニ、此金ヲヤッテ貰ヒ
タイト云フコトヲ言ッタト云フコトヲ聞イテ、誠ニ可哀相ナ健氣ナコトデア

ルト云フ觀念ヲ持ッテ居リマシタ、矢先、此地ヘ往ッテ見マシタト、隙間ドコロ
デハナイ、隙間ダラケデアル、實ニ氣ノ毒ナモノ、曾テ養育院デ孤兒ノ教場ヲ
見タコトガゴザイマスケレドモ、養育院デアラウカ何デアラウカ、殆ド營ヘ方
ナイ、汚ナイ講堂、教室此等ノ子供ハ他ノ學校ヲ見タコトガゴザイマセヌ、立
派ナ學校ヲ見タコトガゴザイマセヌカラ、學校ト云フモノハ斯ノ如キ汚ナイ、
斯ノ如キ寒イ、斯ノ如キ辛イモノデアルト心得テ居リマセウ、今日開明ノ時
代、教育ヲ獎勵スル時代、寒村僻地ト雖モ斯様ナ學校ハ、全國ニサウハゴザ
イマセヌ、私ハ女々しいコトデゴザイマスガ、實ニ可哀相デアルト思ヒマ
シタノデ、何ヤラスウ甚ダ情ケナクナッテ參リマシタカラ、實ハ宜イ加減ニ
シテツコヲ出シマシタ、之ヲ評シテ何ト云フデゴザイマセウ、或ハ貧ヲ裝フ
テ斯様ナコトヲヤッテ居ルト申シマセウ、四箇村聯合デモ斯ノ如キ學校ヲ拵ヘ
ルダケノ資力ダモナイノデアル、ソレカラ高等科ノ生徒ノ作文等ヲ見マシタ
リ、或ハ圖畫等ヲ見マシタリ、多少ソシナ話ガ多イカラデモゴザイマセウガ、
皆他鄉ニ轉ズルトカ、自分ノ鄉里ハ永ノ間ノ害毒ノタメニ荒サレテ居ルカ
ラ、志ヲ他方ニ往ッテ立テタルト云フコトナラザルハナシ、人情他鄉ニ居リ
マシテモ、頭ヲ俯シテ故鄉ヲ思フ、然ルニ故鄉ニ在ル、家ニ在ル、而モ子供
ガ、鄉里ニハ迎モ成業ノ後ハ居ラレナイ、他鄉ニ往ッテ暮サウト云フコトヲ書
イテ居ル、苟モ人情アル者誰カ其悲慘ヲ感ゼヌ者ハナカラウト思ヒマス、ソ
レカラ次ニ一々多數ノ子供ヲ診察スル譯ニモ往キマセヌ、眼ヲ見ル譯ニモ往
キマセヌカラ、唯衛生上殊ニ大切ナルハ學校ノ飲料水デゴザイマス、念ノタメ
ニ之ヲ試驗ヲ致シマシタ、幸ニ藥液ヲ持參致シマシタ、又學校ニモゴザイマシ
タカラ、銅分デモ澤山含ンデ居リハセヌカト思ヒマシタカラ、水ヲ汲マセテ
銅ノ試驗ヲ致シマシタラ、私ノ下手ナセイカ分量ノ少イセイカ、銅ト云フ著シ
イモノハゴザイマセナシタ、ソレダケヲ終リマシテ學校ヲ出マシテ、ソレカ
ラ又被害地ニ向ヒマシタ、他ノ方ニ向ヒマシタ、他ノ方ノ一ツトシテ見マシタ
ノハ、同地ノ墓地デアアル、塚村ノ共同墓地、是ハ十數年以前ノ墓地ヨリハ生垣
等ヲ造リマシテ擴メタ墓地デアアル、其以來幾年月ノ間人ハ多ク埋マッタケレド
モ、此澤山大キナ墓地ノ中ニ一ツノ石塔ガナイ、新シイ石塔ガナイ、十五年以來
新立ノ石塔ガナイ、唯一アル、ソレハ何カ土方ノ親方ト云フノデ、他鄉ノ子
分達ガ相集ッテ石塔ヲ建ッテ吳レタト云フノ外ニハ、村人デ遺ル子孫ガ建ッテ
タト云フ石塔ガ十五年間一ツモナイ、此一事實ヲ見マシテモ他鄉他村ニ在ッテハ、先
ヅナイコトデアラウト思ヒマス、自分ノ子供ヲ——可愛イ子供ヲ教育スル場
所ヲ造ルコトモ出來ナケレバ、大切ナル兩親ノ石塔ヲ建テルコトモ出來ナイ、
是デモマダ被害ハ甚カラヌト言ハレラデゴザイマセウ、人情ヲ矯メテ左様ナ
コトヲ捨テルト評サル、デゴザイマセウ、實ニ氣ノ毒ニ感シ涙垂ル、ノ思
フシテ、又方向ヲ他ニ移シマシタ、往ッテ——人家ヲ見マシタト、曾テ佐倉宗
吾ノ傳ヲ讀ンダトキニ書イテアル如ク、柱傾キ壁破レ風露蔽ハズ、荒レ果テ
タル民家窮民幾軒ト云フコトナク訪問致シテ、高山船津川杯云フ村落ヲ通り

マシテ、日將ニ暮レナントスル頃、佐野町ニ達シヤウト致シマシタ少シ午前、車夫ノ申シマスルニハ、藥ノ中ニモ澤山銅ガゴザイマスル、此藥ヲ焚クト火箸ノヤウニナッテ居リマスルト云フ話ガゴザイマシタカラ、念ノタメニ傍ノ田ノ中ニ積ンデゴザイマスル藥半把ヲ取寄セ來ッテ、暖ヲ取ルト云フコトヲ兼テ一見致サウト思ヒマシテ、車カラ降りテ火ヲ點シテ見マシタ、藥ノ先キノ方ガ燃エマスル時分ニハ、銅ガアルカハ知りマセヌケレドモ、銅ノ固有ノモノハナカッタ、半頃カラ莖ノ元ニ近ヅクニ隨ッテ、彼銅固有ノモノ即チ青イヒヨロ／＼ト云フ火ガ澤山出デ參リマシタ、成ル程被害地ノ米等ノ試験、農科大學ノ教授學士博士等ノ證明スル所ニ據テ見マスレバ、米ノ中ニモ被害地ト稱スル所ノ米ハ、殆ド銅分ヲ含有セザルコトナシトシテゴザイマスガ、果セルカナ斯ノ如キデゴザイマスル以上ニハ、確ニ米ノ中ニ銅ガ含有スルモノデアルト思ヒマシタ、其夜佐野町ニ參リマシテ、同地ノ醫者知友相會シマシテ、ドウカ此後ノ土地ノ病人貧患者等ヲ手當スルノ御協議ヲセンナルマイト云ウテ、彼此レ相談シテ歸リマシタ、佐野町ニ至リマスルマデノ間デ、大凡視察セントスル所ヲ果シマシタル積デゴザイマス、而シテ私が視察ヲ致シテ引上ゲマシテカラ、豫テ同地方ノ有様ハ酷イコトニナッテ居ルデアラウトハ思ヒマシタケレドモ、斯程デアアルコトハ實ニ思ヒマセヌデシタ、前ノ議員田中氏ガ當議場ニ於テ、屢ニ此問題ニ就イテ叫バレルトキニハ、復タ田中ノ鑛毒問題デアルト云フ念ヲ起シタコトガゴザイマスガ、此度自分ガ視察致シマシテ、實ニ今日斯ノ如キ念ヲ起シタト云フコトハ、田中氏ニ對シテ相濟マヌコトヲシタト私ハ感ジマス、否獨リ田中氏ノミナラズ、此憐ナル十數萬ノ人民ニ對シテ相濟マヌカッタト私ハ感ジマシタ、而モ人民ノ總代、人民ノ總代タル吾ガ、此有様ヲ親シク早ク見ヌト云フコトハ、相濟マヌコトデアッタト云フ感ジヲ起シマシタ、尙ホ諸君モ御覽ナサイ、御覽ニナルコトヲ私ハ希望致シマス、ソレハ援救キマシテ、私ノ政府ニ向ッテ切ニ問ハントスル所ノモノハ、田畑ノ被害、財産ノ破壊、ソレハサルコトデアリマスガ、ソレデハナイ、人身ノ被害、生命ノ破壊デアアル、全體内務省衛生局ハ該地方ニ向ッテ、衛生上下ウ云フ取調ヲ爲シタカ、又幾回シタノデアアル、私ノ聞ク所ニ據リマスレバ、一回シタカト思フ、議會毎ニ田中議員ガ人命ニ關スル——衛生上ニ關スル、小供ノ乳ガ出ナイ、生産ガ減ル、死亡者ガ多イト絶叫シタルコト、述ベタルコト幾千萬言、衛生上大ニ害アリト述ベタデハゴザイマスマイカ、然ルニ、其派遣員、其派遣員ハドウ云フ報告ヲシタカ、竊ニ聞ク所ニ據リマスレバ、派遣員ノ云フ所デアルト云フノヲ、傳聞スル所ニ據リマスレバ、銅ノ中毒デアルト云フ證明ハ出來ヌケレドモ、被害地ノ人民ハ確ニ饑饉ノ民デアルト云フコトヲ憚ラヌト云ウタサウデアアル、噓カモ知レヌガ、私ハ左様ニ傳聞シテ居ル、所謂民ニ某色アリ、被害地ノ人民ハ某色ドコロデハナイ、殆ド銅色ヂヤ、既ニ不健康ノ人タルヲ知ッテ居ル、サウシテ之ヲ今日ノ儘尙ホ抛擲シテ居ルトハ何事ダ、之ヲ顧ミナイトハ何事ダ、今統計年鑑ニ就イデ、或ハ他ノ調査ニ就イデ、同被害地ノ有様ヲ證據立デマスレバ、第一栃

木、群馬、此栃木ノ人口百ニ附イテ死亡數平均幾ラデアアル、明治二十三年カラ統計表ニ據ッテ私が調出シタルデアアル、二十三年カラ三十二年マデ、以上九箇年ノ平均數、百ニ對シテ年々死スル所謂死亡數ハ、栃木縣ハ一人ト九分五厘、千人ニ致シマスト云フト十九人五分、即チ統計表ノ云フ所デ、又群馬縣ハ矢張此九箇年間ノ平均ガ二人ト一分八厘、千人ニ致シマスレバ二十一人八分デアアルガ、今群馬縣ノ邑樂郡海老瀬村大字間田ニ於キマシテ、過去十年間二十三年ヨリ三十二年マデ此死亡數ヲ見マスルト二人四分九厘、千人ニ致シマス、此被害地ハ二十四人九分ノ死亡數、群馬縣ノ全體ノ平均數ヲ見マスルト千人ニ附イテ一年ニ二十一一人八分ノ死數デアアル、然ルニ此被害地デハ二十四人九分デアアル、凡ソ五人近クノ……千人ニ附イテ五人近クノ多キノ死亡者ヲ出シテ居ル、又栃木縣ノ二十三年ヨリ三十二年ニ至リマスル九箇年間ノ平均數ヲ見マスルト、百人ニ附イテ一人九分四厘デアアル、栃木縣全體ノ死亡數、然ルニ被害地谷中村下宮字上本郷ニ於キマシタ、二十四年ヨリ三十三年ニ至リマスル十箇年間ノ平均死亡數ハ、百人ニ附イテ二人九分六厘、千人ニ致シマスルト二十九人六分、栃木ノ外ノ地方ハ千人ニ附イテ十九人四分、被害地ハ二十九人六分、百人ニ附イテ一人宛死亡數ガ年々多ウゴザイマス、生産ニ附イテモサウデアアル、子供ノ生レル平均數ヲ見テモ、是レ亦被害地ハ少ウゴザイマス、海老瀬等ハ死亡數ト生レル平均數ヲ見テ居マスカラ、人口ノ殖エヤウガナイコトニナッテ居ルノミナラズ、年々歳々破産者多ク、他郷ニ轉ズル者多ク、家ノ痕跡ハ殘ッテ居リマスガ、或ハ先祖ノ位牌ヲ棄テ、逃ゲタ、或ハ一人ノ老婆ヲ置イテ何處ヘカ往ッタ、又三人一緒ニナッテ一ツノ家ヲ賣ッテ、一軒ニ合宿シタト云フ如キ有様デゴザイマシテ、生産ト死亡ト同比較デ、サウシテ他郷ニ往ク者ガ年々歳々殖エルト致シマスレバ、村ニ鶏犬ノ聲ヲ聞クコト能ハズ、正月元日モ物見モアツタモノデアアルマイ、唯饑ヲ凌ギ病ヲ癒ヤスト云フヨリ外ニハ、ドウゾ一日モ早ク如何ニカ處分ヲシテ貰ヒタイト云フヨリ外望ハナイ筈デアアル、ソレス様ニ統計年鑑、他ノ調べ、明ナル調べ、之ニ據ッテモ死亡者ハ多イ、病人ガ多イ、確ニ多イ、サウシテ出生者ハ少ナイ、斯様デアッテモ内務省ノ衛生局ハ之ヲ何ト思ッテ居ルカ、煩フカラ病人デアアル、命ガ短イカラ死ヌルデアラウ、斯ウ云フヤウナコトハマサカ言ハレマイ、左様ナレバ他ニ何等カノ原因ガアッテ斯様ニナル、又諸君モ御承知ノ通、明治二十三年ノ春内務省ハ飲食食物其他ノ物品取締ニ關スル法律案ト云フモノヲ提出シ、サウシテ此議會ノ協賛ヲ得テ居ル、同年二月法律第十五號トシテ之ヲ發布シテ居ル、ソレカラ其十二月ニ於テ省令第五十號ヲ發シテ、其第七條ニ——内務省ガ發シタル所ノ取締規則其七條ニ銅又ハ其合金ヲ以テ製造シ又ハ修繕シタル飲食食物器具ノ飯食物ニ接觸スル部分ニシテ鍍金屬ノ剝脫シタルモノ又ハ固有ノ光澤ヲ有セサルモノハ營業上ニ使用スルコトヲ得ヌ——銅及ビ其合金ヲ以テ拵ヘタ飲食食物ニ使フ所ノ器、之ニハ中ニ鍍金ヲ引カナケレバナラヌ、或ハ瀬戸ヲ引カナケレバナラヌ、底ノ取レテ居ル所ハ修繕シナケレバナラヌ、固有ノ光澤ヲ失ツタモノハ使ッテハナラヌト云フテ

之ヲ止メテ、銅ト云フモノ、取締ヲ嚴重ニシテ居ル、地方官ハ東京デ言ヘバ
警視廳、地方廳ハ之ヲ取締ルノ職ニ居ル、之ニ背イタル者ハソレヲ沒收ス
ル、禁ズルト云フコトニナツテ居ル、斯様ナ法律ヲ出シテ取締規則ヲ出シテ
居ル、ソレカラ又明治三十三年六月五日ノ内務省令清潔飲料水營業取締規則、
是ハ彼ノ「ラムネ」トカ「リモナーデ」トカ、或ハ果物ノ味ヲ入レタ水ダト
カ云フモノ、取締規則デアアル、其第三條ニ斯様ナコトガ出テ居ル「清潔飲料水
營業ハ飲料水ニ接觸スル部分ヲ銅鉛又ハ其合金ニテ製シタル調製器又ハ
量器ヲ使用スルコトヲ得ス但シ鍍錫其他衛生上有害ノ眞ナキ方法ヲ施シタル
モノハ此限ニアラス」「ラムネ」製造器械「ラムネ」ノ出ル口ガ、銅又ハ銅ノ
合金デアアル、此「ラムネ」ヲ容レル器ハ銅デアアル、之ヲチヨット量ル所ノ器ガ
銅デアアルト云フテハ相成ラス、左様ナモノヲ使ッテハナラヌト云フコトデア
アル、其第五條ニ「清潔飲料水營業者ハ左ノ清潔飲料水ヲ販賣シ又ハ販賣ノ目
的ヲ以テ陳列シ若クハ是ヲ貯藏スルコトヲ得ス」ト云フ下ニ各項ガ並ベテア
ル、其各項ノ中ニハ濁リノアルモノデアアルトカ、有機物ノ含ムモノデアアルト
カセアルガ、其第四項ニ「砒素、安知母、錳、亞鉛、銅、錫、鉛、銅、錫、鉛、銅、錫、
云々」トシテアル、砒素即チ砒石ハ最モ毒物デアアル、左様ナ鉛、亞鉛、銅、錫
ト云フヤウナモノ、含シデアアル、「ラムネ」「リモナーデ」ハ陳列スルコトモ
出來ヌケレバ調製スルコトモ出來ナイ、販賣スルコトモ出來ナイ、其分量ノ
多イ少イハ論ズル所デナイ、少量ト雖モ左様ナモノハ毒物デアアルカラ、之ヲ
含シタモノハ販賣調製ヲ許サヌデアアル、斯様ナ取締規則ヲ出シテ居ル、又
銅ノ化合物、銅カラ成定タ處ノ藥品ハ劇藥デゴザイマス、素人ガ不意ニ往ッ
テモ賣リハ致シマセヌ、工業其他有用ナコトヲ書イテ印形ヲ押シタモノヲ
持ッテ往カナケレバ、少量ト雖モ賣ラヌ劇藥デアアル、斯ノ如ク法律ト云ヒ取
締規則ト云ヒ、銅ト云フモノハ國家——政府——内務省——衛生局——地方
廳、其他人民悉ク今日ハ毒物デアアルト云フコトヲ證明致シテ居ル、然ル
ニ衛生上醫學上確實ナル證明ガ出來ルトカ出來ナイトカ云フコトハ何事ダ、
生理上所謂人身窮理上、銅ト云フモノガ人ノ體ノ内ニ這入ッテ宜イト云フ議
論ハ何處ニ在ル、惡ルイト云フコトハ苟モ醫學ノ醫ノ字ヲ見タ者ハ知ッテ居
ル、唯今日ハ其毒——其毒ノ程度如何ト云フコトヲ研究スルコトガ問題デア
ラウケレドモ、多少ニ拘ラズ毒物デアアルト云フコトハ明デアアル、然ルニ中毒
症狀ガ明ナラヌカラ——證明ガ明ナラヌカラ、内務省ノ衛生局ハ之ヲ抛ッ
テ置クト云フカ、成ル程本ヲ調ベテ見マスト慢性ノ銅中毒ト云フモノハ、
眼ニ銅ガクツ、イデ青クナル、心氣モ弱リ、筋肉モ瘦セ、動悸ハシ、胸ハ痛ミ、
下痢ハスル、顔ノ色ハ變ルト云フヤウニナタナラバ、成ル程證明ガ出來タ
デゴザイマセウケレドモ、左様ナ證明ノ出來タル頃ハ——十餘万ノ人民ハ衛
生局ノ證明ガ出來タル頃ハ、衛生局ノ關スル所デナイ、最早本願寺ノ關スル
所ニナル、サウナツテカラ始テ衛生局ハ心配スルデゴザイマセウカ、内務省
ハ心配スルデゴザイマセウカ、農科大學ノ諸教授學士博士等ガ、被害地ノ米

ハ悉ク銅分ヲ含シテ居ル、水ヲ被ッタ所ノ井戸ニハ多少アルガ、或ハ痕跡バ
カリナ所モアルガ、銅ト云フモノガアルト云フコトハ、長ウナリマスカラ申
シマセヌケレドモ、所謂裁判上ニ關シテ出來タ所ノ鑑定書ニ明デアアル、諸
君、適當ナ生活ヲ致シテ何ノ自由ナク、所謂健康無病ノ人ガ、夏適ニ飲ミマ
スル——日ニ三度飲ムノデハナイ、適ニ飲ム所ノ「ラムネ」「リモナーデ」ノ内
ニモ、少量ナ毒ガアッテスラ往カヌト云ッテ、衛生局ハ之ヲ取締ルノデアアル、
然ルニ或ハ場合ニ依ッタナラバ、一日三度飲ム所ノ水ニ銅ガアリ、食フ所
ノ飯ニ銅ガアル、ソレヲ衛生上差支ナイト云ッテ取締ラヌデアラウ、健
康無病ノ人ガ少シノ銅ヲ飲デモ害ガアルトスラバ、被害地ノ人民、半
死半生ノ憔悴タル人民ガ、日々毎日之ヲ食ベマシタラ如何デゴザイマセウ、
全村舉テ役人ト議員トヲ問ハズ、往ッテ見ルト成ル程饑饉ノ年ノ民ノ如ク
見エルトハ、當リ前ノコトデアラウト思フ、死亡數ガ多イノハ當リ前ナコト
デアラウト思フ、救濟所ノ門前市ヲ爲スト云フコトモ當リ前ノコトデアラウ
ト思ヒマス、私ハ現衛生局長谷川君トハ親友ノ間柄デアアルカラ、獨リ同君
ヲ答ムルノデハナイ、又固ヨリ人身攻撃スルノデハナイケレドモ、長谷川
君ガ曾テ未ダ衛生局長タラザルトキニ、衛生會ノ會場若クハ當議場ニ於テ、
政府ガ傳染病赤痢ノ人民ヲ毒害スルコトヲ慨歎セラレテ、大演說ヲセラレ
テ、人ヲ殺スニ挺ト刃トヲ以テ異ナルコトアルカ、異ナルコトナシ刃ヲ以
テ殺スモ赤痢毒ガ殺スモ毫モ異ナルコトハナイ、同ジコトデアアル、何故ニ
政府ハ之ヲ構ハヌカト云ッテ、政府ヲ難シラレタコトガアル、私ハ今日同
君ニ言フ——衛生局長ニ言フ、赤痢ガ人ヲ殺ス、挺ト刃トヲ以テ殺スニ相異
ナルコトナシト云ハヌ、銅毒デ人ヲ殺スコトハ決シテナイ筈デアアル、同君ハ
何故ニ賢明ナル人デアリナガラ、此儘デ今日マデ構ハナイデ置クノデアアル、私
ハ栃木縣内ヘ這入リマシテカラ、傍ノ人ニ此縣ノ知事ハ斯様ニ状態ヲ、何時
見ラレタコトガアルカト云フコトヲ聞キマシタ所ガ、確トハ記憶致シテ居リ
マセヌガ、縣知事ガ赴任以來三年カ幾ラカニナリマセウ、未ダ一回モ此鐵
毒地ヲ見タコトガナイ、被害地ヲ巡視サレタコトガナイト云フ答ヲ得マシテ、
私ハ實ニ歎息スルノ外、再ビ話ヲ續ケル勇氣ダモゴザイマセヌ、憲法法律
ノ命ズル所、官制ノ定ムル所、彼地方官——府縣知事ハ其地方ノ土木、衛生、
教育、收稅、其一張一弛ハ皆彼ガ直接ニ責任任務ヲ有チマスル問題デアアル、然
ルニ赴任以來殆ト三年、一回ダモ一度ダモ此有様ヲ見ナイノハ何事デアアル、
實ニ人民ニ對シ不親切千萬デアアル、責任ノ上カラ、職務ノ上カラ申シテモ、
其責任職務ヲ輕ズルノ甚キモノデアアルト斯ウ思ヒマス、宜ナルカナ、一目見
タナラバマサカ今日ノヤウナコトシテ居ラレマイ、一方カラ婦人慈善會或ハ
宗教家ガ米金衣類ヲ持ッテ來テ與ヘル後口カラ、モウ地租ノ年限ガ切レタ、
納稅シロト收稅吏ヲ向ケテ、漸ク有ルカ無シノ財産ヲ差押ヘ、錢ヲ押ヘ、今
日シテ居リマス、細カニ何ノ何某ト云フコトハ私ガ控ヘテ參リマシタガ申シ
マセヌガ、或ハ四年或ハ五年或ハ二年ト云フ年限ガ切レタカラ、復舊セヨト

責メル、力足ラズシテ出来マセヌト云フノニ、定メデアアルカラト云ウテ之ヲ押ヘル、何事デゴザイマス、同シク官ノ收稅吏モ是レ人間デアアル、地方官モ人間デアアル、一方カラハ之ヲ救済スルト云ウテ居ルノニ、一方カラ鬼ノ如キ奴ヲ遣ッテ其財產ヲ押ヘル、左様ナコトハ一目見テ居リマシタ以上ニハ、人情トシテ出来ルモノデハナイ、成ル程見ナイデ居ルカラ、コンナコトガ出来テ居リマス、斯様ナ任務ヲ——職責ヲ重ゼザル人民ニ對シテ、不親切ナル、冷酷ナル、地方官、地方廳杯云フモノハ、アレドモ殆ドナキガ如シ、寧ロナイ方ガ優レルカモ知レヌ、近ク毎日新聞デゴザイマシタカ、斯様ナ政廳ハナイ方ガ宜イトカ、ナクセイトカ云フ議論ヲ出シタサウダ、私ハ寧ロ同情ヲ表セントスルカモ知レヌ、官制法律ノ命ズル所ヲ盡サズト云フヤウナ——而シテ租稅ニ食ミ地方稅ヲ使フ所ノ地方廳ハ、ナイ方ガ宜イカモ知レヌ、左様ナ役人地方官ハ之ヲ指シテ朝憲紊亂者トマデハ往キマスマイガ、酷評シタナラバ左様申シテモ差支ナイカモ知レヌ、然ルニ之ヲ論ジタ者ヲ捉ヘテ、朝憲紊亂後日ニ至ッテ何カ直シタサウデアアル、饑渴ニ迫ッテ泣キ叫ブ人民ヲ捉ヘテ以テ暴徒トシ、適當ナコトヲ云フモノヲ朝憲紊亂ト爲ス、彼ト云ヒ此ト云ヒ、筆法ハ甚ダ相似タリト云フ如キ疑ヲ起サレテモ仕様ガアルマイト云フ、其後聞ク所ニ據レバ、朝憲紊亂ヲ正誤致シテ、官吏侮辱トカ何トカ云フコトニナッタソウデゴザイマス、人民侮辱罪ト云フヤウナモノヲ拵ヘタラ宜イカト思フ、以上述べマスル如ク、今日ハ最早此問題ヲ等閑ニ附シ置ケベキト云フ餘裕モゴザイマセヌ、又仄ニ聞ク所ニ據レバ、現政府ハ此問題ニ附イテ、桂首相ヲ始メ平田農相等モ、大ニ心配セラレテ居ルトカ云フコトガゴザイマスルカラ、是ニ附イテ明確ナル解決ヲサレデゴザイマセウケレドモ、ナカノ世ノ中ニモ人ニ就イテ申シマシテモ、色々ナ人ガアル、縱シ調査會ヲ設備致スト申シマシテモ、其人ヲ見其人ヲ選ブト云フコトデゴザイマセヌト云フト、唯物ヲ拵ヘテ却テ臭イ物ニ蓋ドコロデナイ、毒ニ毒ヲ盛ルト云フヤウナ結果ヲ來サストモ申サレヌカラ、第一私ガ前項ニ掲ゲタル所ニ就イテ、政府ガ之ニ向ッテ明確ナル答辯ヲスルト同時ニ、一日モ早く此事ニ著手サレ、サウシテ一日モ早く彼ノ騷擾地ヨリ、憐ムベキ有様ヲ鎮定救済セラル、ヤウ、現内閣ガセラル、コトヲ望ミマス、以上質問ヲ致シマスル大要ヲ述ベルコト左ノ如シ

○平岡萬次郎君(二百九十五番) 私共カラ二ツノ質問ヲ出シテ置キマシタガ、一ハ足尾銅山鑛毒ニ關スル質問趣意書、又一ハ足尾銅山鑛毒處分ニ關スル質問趣意書、此ノ二ツヲ提出致シテアリマスルガ、概要其趣意書ニ盡キテ居リマスカラ、質問演說ハ致シマセヌ、願ハクハ趣意書全體ヲバ速記録ニ登載アラフコトヲ冀ヒマス

(恆松隆慶君演壇ニ登ル)

○恆松隆慶君(二百二十四番) 私ヨリモ質問書ヲ議長ノ手許ヘ提出致シマシ

タ、其事務ニ附イテ極ク大體ノコトダケ申述ベデ置カウト思フ、質問ハ山陰道高等農林學校設置ニ關スル件、山陰道地方ニ對スル政府ノ施設方針ノ件、北清事件ニ關スル從軍者以外ノ官公吏ニ對スル賞賜ノ件、斯ウ云フ質問デゴザイマス、數箇ノ質問デゴザイマスルデ、此理由ヲ十分述べマスルト長クナリマス、然ルニ曩ニ鈴木君ガ鑛毒事件ニ附イテ相應ニ長演說ヲセラレマシテ、時間モ餘程費ヘテゴザイマスカラ、遺憾ナガラホシノ大體ヲ述ベテ置キマスガ、此山陰道ノ地勢ハ諸君ガ大體御承知ノ如ク、半面ハ山嶽ニ接シ半面ハ日本海ノ方ヘ其沿ウテ居リマス、交通頗ル不便ヲ極メテアリマス、然レドモ普通教育ノコトニ附キマシテハ、町村ニ相當ナ學校ヲ建築致シ、却テ此都會ニ優ツタ位ノ學校ヲ建テ、又教員モ相當ナ人ヲ雇入レ、隨テ教員モ眞面目ニ奉職シ勉強致シテ居ル、斯ウ云フ僻地デゴザイマスカラ、貧民モ多イノデアアルケレドモ、教育ノ必要ヲ今日ハ認メテ粥ヲ食ベ辛ヲ食ベル者デモ、其子弟ヲ學校ニ通學セシメ、其就學生ノ數カラ見テモ、他道ニ強テ後レテハ居リマセヌ、然レドモ高等教育ト云フコトニナリマシテハ、誠ニ不便ナ地デゴザイマスカラ、是ガ人材ヲ養生スルコトハ振ハナイノデ、誠ニ地方ノ人々ハ遺憾トスル所デゴザイマス、故ニ諸種ノ高等學校ガ希望デゴザイマスケレドモ、地形上カラ考ヘマスルトキニハ、最モ必要トスベキモノハ、高等農林學校デアルト認メマシテ、第十四議會ニ建議書ヲ提出致シマシタ、政府モ之ニ同意セラレ、又衆議院モ一人ノ異議者ナク、是ガ可決ニナリマシタ、然シテ第十五議會ヲ經テ、第十六議會ノ今日ニナリマシテモ、山陰道ノ此問題ニ就イテハ更ニ其計畫モナイノデアアル、一面山陽道ノ方ノ側ヲ見マスレバ、山口縣ハ一種異ナルト雖モ、近來ハ官立ノ高等中學トナリ、廣島ノ高等師範學校、岡山ノ高等中學、兵庫ノ高等商業學校ナリ、其他近畿九州ト云フノ方面ナリマシテモ、教育ノコトニ附キマシテハ、種々ナ學校モ設置ニナツテ居ル、又教育ノミデハナイ、國防上ノ設備モ多ク設置シテアルノデアアル、免角此東南ニ向ッテハ色々政府ガ仕事ヲ致シマスケレドモ、此北ノ方面ニ向ッテハ更ニ構ハナイ、我邦ノ表日本ニハ力ヲ盡シテモ、裏日本ニハ力ヲ盡サレナイ、更ニ構ハナイト云フヤウナ傾向デアリマス、ソコデ高等農林學校ノコトハ逆モ今此議會ニ豫算ヲ出シテ吳レト云フテモ、出來ナイコトデアリマセウケレドモ、此來ル所ノ十七議會若クハ其後ノ次期ニ於テ、是非ハ置カレカ、ドウ云フ政府ハ考ヘデ居ルカト云フコトヲ、明確ナ答ニ政府ノ意向ヲ承リタイト云フノデアアル、然シテ次ハ山陰道ノ地方ニ關係スル問題デ、主トシテ山陰道鐵道及廣濱鐵道、ソレカラ及電信郵便ノ増設、又裁判所出張所即チ登記所ノ増設、又港灣法ト云フヤウナコトニ附イテノ質問デゴザイマスルガ、諸君、實ニ今日ハ文明ガ日ニ月ニ進歩致シマシテ、之ニ伴ウテ鐵道ノ事業ノ如キハ、最モ著シキ傾向ヲ來シテアリマスケレドモ山陰道ノ方面ニ向ッテハ、實ニ鐵道ノ恩澤ヲ受ケルト云フコトハ少イノデアアル、漸クニシテ近年境港ヨリ米子鳥取ヲ經テ姫路ニ達スル所ノ陰陽連絡姫鳥線ト云フモノガ、一昨年に以

來豫算ガ出マシテ、著々工事ヲシテ居リマス、此有様デアアルナレバ數年ノ後ハ全通シマセウガ、併ナガラ此米子ト松江ノ處ハ諸君ガ御出下スツタ諸君ハ御承知デゴザイマセウガ、僅ニ七八里ノ里程ヲ隔テ、其間極平坦ナ土地デ鐵道ヲ架ケルニモ誠ニ容易ク出來ルノデアアル、殊ニ境港ノ港灣ハ鳥取縣ノ下カナレドモ、其實商業其他ノ重ナル所ハ鳥根縣ニ大關係シテ居ルノデアアル、昨年小松宮殿下ガ御來臨ニナリマシタトキニ、此松江ノ盛ナル所、風景ノ宜シイ所ト云フモノハ、誠ニ御氣ニ參タト云フコトデアアル、又其後中央カラ各名士ガ續々見エマシテモ、此松江ニナゼ米子カラ鐵道ヲ延長シナイノデアアル、實ニ松江ノ地方ハ山ハ青シ水ハ清シ、風景頗ル好シ、又近ク大社モ控ヘテ居ル、誠ニ繁盛ノ地デアリ、鐵道ガ出來テ利益ノアル所デアアル、然ルヲ山陰道ノ第一ノ都會トスベキ所ノ、此中央ナル鳥根ノ松江マデ敷カナイト云フコトハ如何ナモノデアアルカ、誠ニ歎クベキコトデアアル、一度來タ人ハ皆其感ゼラレルノデアアル、然ルニ地方ヨリ屢、請願其他ノコトヲ致シマスケレドモ、マダ時期ガ參リマセヌ、又軍事上カラ申シマシテモ、二十七八年ノ戰爭ニモ一番先驅ヲシテ出兵シテ居ル、一昨年ノ北清事件ニ於テモ動員令ガ發セラレテ、總テ島根縣ノ者ハ妻子ヲ打捨テ、出兵致シテ居ル有様デ、又土地ノ上カラデモ露西亞ノ浦潮斯德ニモ、朝鮮ニモ、清國ニモセヨ、種々ノ關係アルニモ拘ラズ、鐵道ノコトガマダ呼聲ガ高マラヌノデアアル、又濱田デシマスルト、廣島師團ノ聯隊ガ置レマシテ、又此間ノ師團ト聯隊ノ關係ト云ヒ、又濱田港ハ貿易港ト爲テ種々他ニ關係ノアル土地デアアル、ソレデ米子ヨリ松江ヲ經テ濱田又ハ山口縣下ヨリ津和野ヲ經テ濱田ニ至ル、廣濱間ノ線路等ノ問題ハ、本年ノ豫算デ見マスルト、鐵道線路調査費ト云フモノガ、昨年吾ガ建議シタメニ豫算ニ入レタノデ、是ハ四箇年ノ繼續事業ト云フコトニナツテ居ル、デ是等ノ費用ヲ置キマシタ以上ハ、是等ノ鐵道ニ附イテ實測ヲナシ、而シテ其工事ノ善後計畫等ハ政府ノ如何セラル、カト云フコトヲ、私ハ尋ネルノデアアル、又電信ナリ、郵便ナリ、登記所ナリ、近來多少増シマシテ、昔日ノ感ハナイノデアアリマスルガ、併ナガラ鐵道デモ開ケマスレバ、十分御減シニナツデモ宜シイケレドモ、マダ鐵道ノ出來ナイヤウナ地方ハ、戶數トカ人口トカ云フ例ニ依ラヌデ、特種ノ點ヲ以テ増設シテ貰ハヌト、僅カ一電信ヲ掛クルニ附イテモ、草鞋掛デ七八里ヲ往クト云フコトデアハ、ナカク今日ノ此時世ノ交通ノ恩澤ヲ受クルコトハ殊ニ少イノデアアル、又登記所ヲ見ルト、是ガ十二月カラ二月頃マデ田舎ハ最モ賣買讓與ガ多イノデアアル、僅カ一畝歩ノ登記ヲ受ケルニモ六七里ノ雪道ヲ踏ンデ往カナケレバナラヌ、又泊リ掛ケデ往カナケレバナラヌヤウナ有様デ、民法商法實施以來非常ニ困難シテ居リマスカラ、斯ウ云フ田舎ニ向ヒテハ、後ノ年度カラデモ増設スル方針ヲ取ツテ、幾分ノ便利ヲ與ヘテ貰ヒタイ、是等ハ決シテ財政整理問題ニ關係ハシナイ、電信郵便ヲ指ヘヤウト、登記所ヲ指ヘヤウト、ソレダケノ登記者ガ多クナリ、電信ナリ、郵便ナリ、發信者ガ多クナテ、從ツテ收入ガ増加スルノデアアル、詰リ營利的ノ事業ト云フ有様デア

ルカラ、鐵道ノ開ケナイ中ニハ是等ノコトニ便利ヲ與ヘテ貰ハナケレバナラヌ、又港灣ノコトニ附キマシテハ、舞鶴ガ軍港ニナリマシテ、鳥取島根ハ最モ關係ガ多ク、又港灣モ多ウゴザイマス、島根ノ如キハ海岸ガ七十里、殊ニ隱岐ノ國ヲ控ヘテ居リマスカラ、百里位海ニ沿ウテ居ルノデアアル、港灣モ多アルノデアアルカラ、是等ノ實測ヲ致シテドウカ改築致シタイト云フ考ヲ持ツテ居リマスガ、如何セン此港灣法ト云フモノガナイカラシテ、如何ナル支出方ニシテモ宜イカト云フコトハ苦シデ居ル、軍艦ナリ水雷艦ノ寄港又汽船ノ安全ニ碇泊スルヤウニ、漁船ノ避難ヲスルヤウニ致シタイト云フ計畫ハ、緻密ニ調査致シテ、ソレ等ノコトノ計畫ヲ遂ゲルト云フコトニ困ル、是ハ鐵道ニ敷設法アリ、河川ニ河川法アリスレバ、港灣ハ我邦ハ四面環海ノ國ナレバ、最モ港灣ニ政府ハ重キヲ置イテ、港灣法ノ制定位ナコトハ出來テ宜カラウト思フガ、是ハ今後如何ナ考デ政府ハ居ラル、カト云フコトヲ尋ネル、ソレカラ次ハ從軍——北清事件ノ從軍者以外ノ官公吏ハ如何スルカ、二十七八年ノ戰爭ニ附キマシテハ、全國一般ニ從軍サシタノデゴザイマス、此度モ從軍者ガ二十七八年ノ例ニ依ツテ、或ハ勳章ナリ賞金ガアリマシタ、是ハ尙武獎勵ノ美譽ナリト吾々ハ感ジテ居リマスガ、此從軍者以外ノ者ハ二十七八年ノ例ニ依ツテ、五師團管內限臨時召集ニナツタ所デアアル、之ガタメニ非常ニ郡長ナリ郡吏ナリ町村長ト云フ者ハ、非常ナ煩雜ヲ來シタノデアアル、是等ニモ相當ノ賞賜ノ手續ヲサレルカ否ヤ、殊ニ此師團聯隊ノ所在地ノ郡町村行軍ノアツタ所ノ公吏ハ、非常ナル此事ニ附イテ心配モ致シテ居ルノデアアリナガラ、是等ニ附イテハ未ダ何コソト云ツテ、一向取沙汰モナイノダガ、是等ハ政府ガ傍觀サレテ居ルコトデアアルマイ、相當ノ手續ヲサレルヤ否ヤト云フコトヲ尋ネル、以上私ガ述べル所ハ大體デゴザイマスガ、細カイコトハ今少シ述ベタウゴザイマスガ、是ハ略シマス、而シテ此質問書ニモ大分長ク書イテアリマシテ、又質問ノ中ニモ提出ノ理由ノ書イタノモゴザイマスカラ、ツツクリ之ヲ速記ニ載セテ貰フコトニ致シマシテ、先ツ提出ノ理由ハ之ニ止メテ置キマス

○議長(片岡健吉君) 是ヨリ議事日程ノ第一ニ移リマス、地租條例中改正法律案、第一讀會ノ續、委員長報告——有村連君

第一 地租條例中改正法律案(菅野善右 第一讀會ノ續(委員長 衛門君外七名提出))

(有村連君演壇ニ登ル)

○有村連君(百八十二番) 私ハ茲ニ地租條例中改正法律案特別委員會ノ報告ヲ致シマス、本案ニ附キマシテハ委員選定以來、十分ニ審査ヲ盡シマシテ、此第一項ニ於テ「天災又ハ地變」トアル所ヲ、御手許ニ同シデアリマスル報告通「災害」ト云フコトニ提出者ヨリ修正ヲ致シマシタ、ソレカラ此「明治三十四年法律第二十七號ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス」トアリマスノハ、是ハ水害ニ係ル免除ノ件デゴザイマスカラ、此災害ト云フコトヲ此處ニ致シマ

シタ以上ハ、即チ風害旱害蟲害水害其他地震等ノ災害ヲ含シテ居リマスカラ、
是ハ即チ廢止スルト云フコトニナツテ居リマス、之ニ附キマシテハ政府委員モ
同意ヲ表シマシタ此段報告ヲ致シマス

○恆松隆慶君(二百二十四番) 直チニ二讀會ヲ開クコトヲ望ミマス

○議長(片岡健吉君) 先ヅ初メニ二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ採決致シマス、二讀
會ヲ開クコトニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ二讀會ヲ開クコトニ致シマス、今恆
松隆慶君カラ直チニ二讀會ヲ開カレタイト云フ動議ガ出マシタガ、是モ御異
議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ直チニ二讀會ヲ開クコトニ致シマシ
テ、全部ヲ議題ニ供シマス

地租條例中改正法律案

第二讀會

○恆松隆慶君(二百二十四番) 此問題ハ隨分重イ問題ニ思ヒマスガ、併ナガ
ラ政府モ別ニ異論モナシ、委員會モ全會一致シテ報告致シマシタ、委員長報
告ノ通讀會ヲ省略シテ確定ニナツテ宜カラウト思ヒマス

(「贊成々々」ノ聲起ル)

○議長(片岡健吉君) 讀會省略ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ讀會ヲ省略スルコトニ致シマス、委
員長報告通讀會アリマセヌカ

地租條例中改正法律案

確定議

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ確定スルコトニ致シマス、議事日程
ノ第二ニ移リマス、蟲害地租特別處分法案第一讀會ノ續、委員長ノ報告――
橋本久太郎君

第二 蟲害地租特別處分法案(橋本久太郎君外三名提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

(橋本久太郎君演壇ニ登ル)

○橋本久太郎君(百七十五番) 御報告ヲ致シマスガ、委員會ハ昨十二月ノ二
十八日ニ開キマシテ、當日委員長理事ノ選舉ヲシマシタ、而シテ當日直チニ
委員會ヲ開キマシタコトデゴザイマスガ、是モ御手許ニ回ツテ居リマス通、
第七條ニ「明治三十五年六月三十日マテ」トアル文字ヲ「本法施行後三十日以
内」ト云フ文字ニ改メマシタ外ハ、政府委員其他出ラレテ居リマスル委員一
體ニ於テ、異議ナク全會一致ヲ以テ可決シタ次第デゴザイマス、而シテ此單簡

ナル修正ハ元ト明治三十五年八月三十日マデトゴザイマスノハ、餘リ長キニ
失スルカラ、矢張施行後三十日以内ニシタガ適當デアラウ、殊ニ水害地方地
租免除法案ニ附キマシテモ、矢張罹災後三十日以内トゴザイマスルガ、アレハ
是トハ違ヒマスケレドモ、矢張施行後三十日以内トシタナラバ、長キニ失セズ
シテ宜シカラウト云フ説モゴザイマシテ、其方ハ決シマシタ次第デゴザイマ
ス、事實ニ於キマシテチヨット一言申上デマスガ、昨年ハ德島靜岡其他一部分
ノ地方ニ此蟲害ガゴザイマシタガ、就中德島縣ノ板野郡勝浦郡那賀郡等ノ各
郡ノ中ノ一部分ノ村落ニ於キマシテハ、收穫期ニ臨ミマシテ俄然ト浮塵子ガ
發生シマシテ、而シテ非常ナ猛烈ナル勢ヲ有、テカラニ延蔓ヲ致シマシタガ、
種々之ニ附キマシテハ周章狼狽シテカラニ、晝夜ヲ分ズシテ驅除ニ盡力ヲ
致シマシタケレドモ、不幸ニシテ德島縣中デ凡ソ千四百五十町歩タケハ、收穫皆
無ノ地ヲ生ジタ次第デゴザイマス、之ヲ昨年ノ普通ノ豐穰ナル收穫ニ較ベテ
見マス、金額ニ積テ凡ソ四十万前後ノ損失ニナツテ居リマスカラ、此損失ヲ
爲シマシタ上ニ、驅除費ニ對シテ此收穫皆無地ニ割付ケマシタ、其費額ハ二万
二三千ニ至ツテ居ラウト云フ有様、誠ニ慘極、タ有様デゴザイマス、ソレ故ニ前
例モゴザイマス、前々議會前議會ニ於テモ、本會ノミナラス兩院上下一致ヲ
以テ可決致シタコトデゴザイマスカラ、ドウゾ此前例ニ依ツテ同一ノ被害民、
否ナ前ヨリ増サウガ、少クナイ被害ヲ極メテ居リマスル蟲害デゴザイマス
故ニ、ドウゾ諸君ニ於テモ、速ニ御可決アラント報告ト共ニ希望致シマ
ス

○議長(片岡健吉君) 本案ニ附イテ第二讀會ヲ開クヤ否ヤノ採決ヲ致シマ
ス、第二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○恆松隆慶君(二百二十四番) ドウカ直チニ……

○議長(片岡健吉君) 第二讀會ヲ直チニ開クコトニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ直チニ第二讀會ヲ開クコトニシテ、
全部ヲ議題ニ供シマス

蟲害地租特別處分法案

第二讀會

○恆松隆慶君(二百二十四番) 是モ讀會省略デ確定アラントヲ望ミマス

○議長(片岡健吉君) 讀會省略ノ動議ガ出マシタガ、御異議ハアリマセヌ
カ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ讀會ヲ省略スルコトニ致シマス、委
員長ノ報告通讀會アリマセヌカ

蟲害地租特別處分法案

確定議

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ確定致シマス、議事日程第三市町村會議員及市參事會員ニ關スル法律案、第一讀會、議案ノ朗讀ヲ省略致シマス

第三 市町村會議員及市參事會員ニ關スル法律案 第一讀會

(田口卯吉君外二名提出)

市町村ノ爲請負ヲ爲シ若ハ金穀其ノ他ノ物品出納ノ取扱ヲ爲ス者又ハ市町村ノ爲請負ヲ爲シ若ハ金穀其ノ他ノ物品出納ノ取扱ヲ爲ス法人ノ役員ハ市町村會議員又ハ市參事會員タルコトヲ得ス市會議員ハ同時ニ市參事會員タルコトヲ得ス

○田口卯吉君(二百五十七番) 本案提出ノ理由ヲ述ベマス

○議長(片岡健吉君) 田口卯吉君

(田口卯吉君演壇ニ登ル)

○田口卯吉君(二百五十七番) 滿場諸君、本案ハ誠ニ簡單ナルモノデ、別ニ詳シク理由ヲ述ベル必要ハゴザイマセヌデゴザイマスルガ、尙ホ簡單ニ其趣意ヲ述ベテ、諸君ノ御贊成ヲ請ヒタイト思ヒマス、諸君モ御承知ノ如ク、衆議院選舉法ニ於キマシテモ、亦府縣制ニ於キマシテモ、郡制ニ於キマシテモ、總テ請負ヲ爲ス者ハ議員ニ選舉セラレ資格ヲ持ッテ居リマセヌノデ、然ルニ市町村制ノ發布ノ頃ニハ未ダ其事ニ當局者ノ注意ガナカッタト見エマシテ、此設備ヲ缺イテ居リマスル、ソレガタメニ東京市杯ニ於キマシテモ、市ノタメニ請負ヲナシ、若クハ市ノ公金ヲ取扱ッテ居ルモノガ、市會議員ニナリマシテ、ソレノタメニ弊害ヲ大ニ起シテ居ルコトデゴザイマス、他ノ府縣他ノ市町村ノ事情ヲ聞キマシテモ、確ニ其實情アルヤウニ本員等ハ認メマスル、ソレ故ニ本員ガ提出致シマシタル趣意ハ、市町村ニ於キマシテモ、斯ノ如キ請負ヲ爲ス者、若クハ公金等ヲ取扱ヒマスル者ハ、議員タルノ資格ノナイヤウニ致シタイト云フ精神ガ、此第一項ノ趣意デゴザイマス、ソレカラ第二項ハ市會議員ト市參事會員ト兼ネテ居ルコトガ、餘程弊害ノアルコトニ考ヘテ居リマスル、現ニ父子兄弟ノ關係ノアル者ハ、市會議員市參事會員ト同時ニ爲ルコトガ出來ヌト云フ條項ガアリナガラ、同一ノ人ニシテ市會議員トナリ市參事會員ト兼ネタルコトハ、法律ノ精神カラ考ヘマシテモ無イコト、信ジマス、併ナガラ是ヲ禁ズル條項ガゴザイマセヌ所カラ、現時ノ東京市會

ノ有様杯ヲ見マスルト、全ク市會議員ガ市參事會員ヲ兼ネテ居ルト云フヤウナ有様デス、是ガ即チ大ナル弊害ノ原因ニ考ヘラレマスルカラ、此二ツノ點ヲ全ク禁ジタイト云フ精神デ、此法律案ヲ立テマシタコトデゴザイマス、何卒諸君ノ御贊成ヲ得タイト考ヘマス

○恆松隆慶君(二百二十四番) ドウカ是ハ直チニ議長ノ指名デ、九名ノ委員ニ付託アラントヲ希望致シマス

(贊成贊成「ト呼フ者アリ」)

○議長(片岡健吉君) 恆松君カラ九名ノ委員ヲ議長指名ト云フ動議ガ出マシ

タガ、特別委員ヲ九名議長ガ指名スルコトニ御異議ゴザイマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通決シマス

○恆松隆慶君(二百二十四番) 此次ノ四、五、六ハ建議案デゴザイマス、前ノハ法律案デゴザイマスカラ、田口君ガ提出ノ理由ヲ演述サレマシタガ、後トハ提出者ニ勸解シテ貰ッテ之ヲ一括シテ問題ニ供シテ、直ニ委員ニ付託シタイト考ヘマスカラ、先ヅ以テ一括ニ付スルヤ否ヤト云フコトヲ御採決ヲ願ヒマス

(「贊成贊成」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 其前ニ御諮リスルコトガアリマス、此議事日程ノ第四ニ上ッテ居リマスル問題ヲ、提出者カラ本日ハ延シテ貰ヒタイト云フ請求ガアリマスガ、延スコトニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ延バスコトニ決シマス

○恆松隆慶君(二百二十四番) ヲレデハ五、六ヲ……

○平岡萬次郎君(二百九十五番) 私ハ簡短ニ提出ノ理由ヲ述ベタウゴザイマス

○議長(片岡健吉君) 先ツ初ニ併テ議題ニ供スルヤ否ヤト云フコトヲ採決シマス、恆松君カラ第五第六ヲ併セテ議題ニ供シタイト云フ動議ガ出マシタガ之ヲ併セテ議題スルコトニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ兩案ヲ併セテ議題ニ供スルコトニ致シマス——平岡萬次郎君、御述ベニナリマスカ

第五 請願法制定ノ建議案(平岡萬次郎君外四名提出)

憲法第三十條ニハ日本臣民ハ相當ノ敬禮ヲ守リ別ニ定ムル所ノ規程ニ從ヒ請願ヲ爲スコトヲ得トアリ然ルニ憲法實施以來既ニ十有餘年ニ達シタルノ今日帝國議會ニ對スル請願ノ外未タ其ノ規程ヲ定メス是レ憲法ヲ尊重スル所以ノ道ニアラス政府ハ速ニ請願法ヲ設ケ帝國議會ノ協贊ヲ求ムヘシ右建議ス

第六 工業試驗所ニ板硝子製造練習工場設置ニ關スル建議案

(根本正君外二名提出)

板硝子ハ今尙悉皆外國ノ輸入ヲ仰キ内地製品ヲ產出スルコト能ハス然レトモ板硝子ノ需要ハ日進月歩ノ勢アリテ和洋風家屋建具ヲ初メトシ其ノ他ノ用途頗ル廣ク隨テ年々海外ヨリ輸入ノ額ヲ増加シ去ル明治三十二年ハ百二十五萬圓餘ノ輸入ヲ見タリ故ニ今日ニ於テ之カ輸入ヲ防遏スルノ策ヲ講スルハ最必要ナリトス蓋斯業ノ經營ヲ爲ス者アリト雖不幸ニシテ未タ好果ヲ得ルニ至ラス是レ全ク板硝子ハ其使用スヘキ職工ニ一種ノ修練ヲ要シ之ニ慣熟セシムルニハ幾多ノ時日ヲ俟タサルヲ得シテ其ノ間多クハ空ク職工

ヲ養成スルニ止マリ實習中ノ製品ハ實用ニ適スルモノ半數ニ及サルノ致ス所ヲラスムハアラス之カ爲營利ヲ目的トスル民業トシテハ收支相償ハサルノ患アリ隨テ之カ練習ヲ全フスル能ハスシテ今日ニ於テモ尙海外輸入ノミニ其ノ供給ヲ仰クハ遺憾ナリト謂フヘシ故ニ工業試驗所ニ於テ板硝子製造練習工場ヲ設置シ斯業ノ爲職工ノ傳習慣熟ノ機會ヲ得セシムルハ産業發達ノ爲特ニ急務ナルコトヲ信ス依テ政府ハ速ニ板硝子製造練習工場ヲ設置スルノ計畫ヲ立テラレムコトヲ望ム

右建議ス

○平岡萬次郎君(二百九十五番) 少シ述べタウゴザイマス

○議長(片岡健吉君) 平岡萬次郎君

(平岡萬次郎君演壇ニ登ル)

○平岡萬次郎君(二百九十五番) 甚ダ恐縮デスガ、成ルベク簡短ニヤリマスカラ、少シ御聽キヲ願ヒマス、明治元年ノ大詔所謂五箇條ノ御誓文ハ、諸君ノ御承知ノ通五箇條ノ御誓文ノ其第二、ニ申上グルマデモゴザイマセヌガ「上下心ヲ一ニシテ盛ニ經綸ヲ行フヘシ」ト云フコトガゴザイマス、上下心ヲ一ニシテ盛ニ經綸ヲ行ハント欲スルナラバ、民情上達ト云フコトガナケレバナラヌ、所謂言路洞開ト云フコトガナケレバナリマセヌ、言路洞開シナイ以上ハ、ドウシテモ上下心ヲ一ニスルト云フコトノ出來ナイコトハ勿論ノ話デアラウト考ヘマス、此精神ハ憲法ニ矢張這入リマシテ、其第三十條ニ斯様ニ規定シテゴザイマス、日本臣民ハ相當ノ敬禮ヲ守リ別ニ定ムル所ノ規程ニ從ヒ請願ヲ爲スコトヲ得」ト、斯様ニ憲法ノ第三十條ニ定メマシタ、此請願ノ途ヲ開イタナラバ、上下心ヲ一ニシテ盛ニ經綸ヲ行フコトガ出來ル、若シ之ヲヤラナケレバ、ドウシテモ此維新ノ際ノ國此通行フコトガ出來ナイヤウニナルノデアリマス、又斯ノ如ク致サナケレバ、國民ノ元氣ヲ振作スルコトハ、ドウシテモ出來ナイコトデアラウト考ヘマス、苟モ我國ニ是トスル者、又苟モ憲法ヲ尊重スル者、苟モ民權ヲ貴重スル者、苟モ民政ヲ愛護セント欲スル者、又我國國民四千有餘万ノ赤心ヲ知ル者ハ、誰カ斯ノ請願法ノ制定ヲ冀ハザル者ハゴザイマス、マイト考ヘマス、之ヲ以テ本員ハ第十五議會即チ昨年ノ議會ニ、始テ此建議案ヲ提出致シマシタ、特別委員會ニ於テハ全會一致ヲ以テ可決ニナリマシタガ、不幸當議場ニ於キマシテハ諸君ノ諒スル所ト爲ラズシテ、否決ノ運命ニ遭ヒマシタノデゴザイマス、ソレデ本員ハ是非ハナケレバナラヌモノト信ジマス、更ニ本年モ提出致シマシテ、飽クマデ諸君ノ御贊成ヲ希望スル所以デゴザイマス、此請願ト云フモノヲ細別致シマス、三ツニナルノデアリマス、第一ハ帝國議會ニ對スル請願、第二ハ行政官衙ニ對スル請願、第三ハ至尊ニ對シテ請願シ奉ルモノ、是デゴザイマス、諸君モ御承知ノ通帝國議會ニ對スル所ノ請願規定ハアリマス、行政官衙ニ對スル請願ノ規定竝ニ至尊ニ對シテ請願シ奉ル規定ト云フモノハ、未ダ出來テ居ラヌノデゴザイマス、其結果ト致シマシテ、諸君モ屢々御遇ヒノコトト考ヘマス

ルガ、行政官衙ニ一ノ請願ヲ爲サント欲シテ村役場ニ行クト、手續ガ分ラヌ、漸クニシテ村役場ニ於テ其手續ヲ經ル、郡役所ニ往クト彼此ト小言ガ出テ來ル、百方努テ其郡役所ヲ通過シテ縣廳ニ往クト云フト、又種々ノ小言ガ出テ一ツノ請願ヲ出サウトシテモ、ナカノ數多ノ日子ヲ經過シテ數多ノ手續ヲ經テ、遂ニハ持ッテ往クトコトガ出來ナイト云フヤウナ結果ニナル、又之ヲ爲スニ附イテハ非常ノ日子ヲ經ナケレバナラヌカラ、其時機ヲ失スルト云フコトガ往々アルト云フコトハ、諸君モ是マデ御經驗ニナッタコト、考ヘル、又至尊ニ對シテ請願シ奉ル場合ニ於テモ、所謂九重雲深ウシテ、諸君ガ如何ニシテ此手續ヲ盡シテ宜イモノデアアルカ、其形式制限果シテ如何ト云フコトハ、明ニ答ヘル人ハナカラウト思フ、何トナレバ其手續ガ規定シテナイカラ分ラナイ、現ニ例ヲ以テ言フト、彼ノ田中正造君ガ鹵簿ニ對シテ直訴ヲ企テタ、若モ請願法ガ明ニ其道ヲ規定シテアルナラバ、田中君ヲシテ彼ノ狂態ニ出デシメナカッタラウト考ヘル、又同シ鑛毒ノコトニ關係シテ、鑛毒被害民百名バカリノ者ガ被告事件ト爲テ牢獄ニ繋ガレテ居ル、彼ハ請願ヲスル者デアアル、併ナガラ請願スル所ノ途ガ教ヘテナイ、教ヘテナイモノデアアルカラシテ、如何ニシタナラバ宜イカト云フコトガ分ラナイ、政府ノ方ニ於テハ、請願スルニハ斯様ナ途ヲ蹈ンデ來イ、斯様ナ方法ヲ以テ來イト云フ所ノ規定ヲシテ置イテ、其手續ニ背イタナラバ之ヲ縛ルトカドウスルトカ云フコトハ宜イケレドモ、其道ヲ教ヘズシテ向フノ爲シタコトガ惡ルイト云フノハ、甚ダ不親切ナル方法デアラウト思フ、此請願法ノ規定ナキタメニ、現ニ斯ノ如キ不都合ノ起ルト云フ例ガアルノデアアル、諸君ハ此事ハ能ク御承知ノコトデアリマス、斯ノ如キ缺點アルモノヲ捨置クト云フ事柄ハ、甚ダドウモ不都合極マルコトデアラウト私共ハ考ヘル、又缺點ノ大ナルモノト信ジマス、之ニ因ッテ本員ハ此建議案ヲ提出致シマシテ、諸君ノ御協賛ヲ得テ成ルベク早く請願法ノ制定セラル、コトヲ希望スル所以デアリマス、是ハ法律案デゴザイマス、サリナガラ此請願法ト云フモノハ、ナカノ重大ナ法律デアアル、申上グルマデモナク、事至尊ニ關係スル、又行政官衙ニ關係スル、彼ノ民法トカ商法トカ云フモノヨリハ、ズツト重大ナル所ノ法律デアアルノデアアル、デ國家ノ方ニ於テハ各機關ト云フモノガ備ッテ居ルカラ、其機關ヲ十分利用シテ各其能ヲ盡サシメテ、完全ナルモノヲ作ルト云フコトガ宜キヲ得タルモノト考ヘル、ソレ故ニ政府ハ宜シク慎重ノ調ヲシテ、此法律案ヲ拵ヘテ本院ノ協賛ヲ求ムルヤウニシナケレバナラヌ、又之ヲスルノガ政府ノ德義デアアル、職務デアアル、憲法實施以來十有餘年ニ達シタル今日、尙ホ請願ノ途ヲ開カズ、人ヲシテ請願スルノ途ニ迷ハシムルハ、政府ノ曠職ト言ウテ宜イト考ヘル、願ハクハ諸君ノ御協賛ヲ希望致シマス

○石田貫之助君(二百十六番) 質問ガアリマス、私ハ平岡君ニ質問ヲ致シタイノデアリマスガ、唯今 天皇陛下ニ請願ヲ奉ルノ手續、即チ其成規ヲ云ヤト

云フコトデアリマシタガ、此行政官衙ノ請願ト兩様ノヤウニ承知シマシタガ、果シテ左様デアリマスカ

○平岡萬次郎君(二百九十五番) 左様デス

○石田貫之助君(二百十六番) 前段ノ 天皇陛下ニ請願ヲ奉ルト云フ事柄ニ附イテ、宮内省ニハ憲法ノ命ズル所ニ依ッテ、請願ノ手續ハ定ッテ居ルノデアリマスカ、ソレデハイカヌデ、即チ政府ノ法律ヲ以テ定メナケレバナラヌト云フ御趣意デゴザイマスカ、如何デゴザイマスカ

○平岡萬次郎君(二百九十五番) 憲法ニハ別ニ定ムル所ノ規定デアリマス、是ハ法律ヲ定ムベキモノト本員ハ信ジマス、ソレカラ宮内省ノ方ニ於テ其手續ガ定ッテ居ルト云フコトハ、アナタノ誤解デアアル、ソレハナノデアアル、未ダ請願法ト云フ 請願ノ手續ト云フモノハ定ッテ居ラヌ、現ニアナタ方ニモ分ッテ居リマスカイト考ヘル、誰モ定ッテ居ラナイカラ知ッテ居ル者ハナイ

○石田貫之助君(二百十六番) 誤解デアルト云フコトデゴザイマスカ、是ハ平岡君ガ恐ラクハ御承知ナイコト、思フ、他ノ承知シテ居ル者ヲ誤解デアルト言ハレルガ、私ハ言葉答ハ致シマセヌガ、現ニ私ハ其手續ヲ宮内省デ了承致シタノデゴザイマス、ドウ云フ手續ニナッテ居ルカト申シマスルト云フト、臣民ガ 天皇陛下ニ請願ヲ奉ルトコトハ、即チ書式ト云フモノハ別段デゴザイマセヌガ、奥ノ宛名ヲ記載致サズシテ、封ジマシテ文書秘書官宛ニシテ出シマスレバ、ソレガ請願ノ手續ニナッテ居ルノデゴザイマス、其事柄ハ重大ナコトデゴザイマスカ、アナタノ御意見ヲ答メルデモ何デモナイ、此事柄ハ

私ハ七八年前ト思ヒマス、即チ此自由黨カラ 天皇陛下ニ對シテ建白ヲ致シタイコトガゴザイマス、其總代ニ就イテ私ハ宮内省ニ出頭致シタノデゴザイマス、宮内大臣ニ面會ヲ致シテ此自由黨 吾々ノ同志ノ建白ヲ 天皇陛下ニ御執奏ヲ請ウタノデアリマス、然ル處其當時長崎秘書官ガ出デラレマシテ申サレルニハ、臣民カラ 天皇陛下ニ對シテ建白ト云フコトハ、憲法ニモ何モアリマセヌカラ以テ、之ヲ御執奏申スコトハ出来マセヌト云フコトデアッタ、デ私ハ申スニ、今平岡君ガ言ハレマシタ通、憲法三十條、

是ハ臣民ニ對シテ大切ナル權利デアアル、此請願ト云フコトハ憲法ニ於テ許サレデアル以上ニ於テ、建白ハ出来ナイ、御執奏ハ出来ナイト云フコトハナノト云フコトヲ論ジタノデアリマス、所ガソレハ請願ノコトデアリマスカナレバ、憲法ニ其手續ガ定ッテ居リマス、斯ウ云フコトデアリマス時請願ノ手續ヲ承知致シタノデアリマス、併シ此事柄ハ最早思ヒマスルニ、七八年前デゴザイマスカ、或ハ宮内省ニ於テ其取扱ノ順序若クハ成規トデモ云フモノヲ、御取消ニナリマシタナラバ知ラズ、御取消ニナラヌ以上ハ、正ニ現存シテ居

ルノデゴザイマス、ソレデ私ハ此質問ヲ致スノデアリマス

○平岡萬次郎君(二百九十五番) 御答致シマス、成ル程宮内省ノ方ニ於テハ内部ニ於テ何カ極リガアルヤウデス、ソレハ品物ヲ献上スルトカ、正何位從何位ト云フヤウナ人ガ建言スルコトヲ、取扱フモノデアッテ、一般人民カラ往ク

モノニ附イテハ、一向極リガナイヤウデアリマス、併ナガラ憲法ニ定ッテ居ルモノデアアルカラ、宮内省ト雖モ決シテ其途ヲ塞イダト云フコトハ云ハレナイ、即チ迎リ迎リテ其途ヲ往ッテ、宮内省ノ手ニ請願ガ通入ルナラバ、今日デモ調ベル 文書秘書官デ調ラベルサウデアアル、之ヲ以テ既ニ其規定ガアルト云ハル、ナラバ、是ハ内部ノ方デ法律デナクシテ、唯内命デ其事ガ極メテアルト云フコトハ云ハレマスガ、法律ガアルト云フコトハ云ハレナイ、左様ナルモノハナノト同ジモノデアアル、吾々ノ希望スルノハ法律ト定メテ、人民ニ其手續ヲ承知セシメテ、如何ナルモノガ請願ヲシヤウトシテモ、明ニ方法ガ分ルト云フ途ヲ規定シテ法律ヲ設ケタイノガ趣意デアアル、ソレデ憲法ニ斯ウ云フ規定ガアル以上ハ、法律ガナノト云フコトハ云ヘナイ、若シ法アリト云フナラバ、不文法ガアルト云フコトガ云ヘル、憲法ニ定ッテ居ル以上ハ、其途ガナケレバナラヌ、サウスレバ恰モ田中君ノ如ク直訴シテモ宜イカモ分ラヌ、如何ナル方法ヲ以テ往ッテモ、人民ノ好ム所ニ委セルト、斯ウ云フ法ガアルト云ウテ宜イカモ知レヌ、然ルニ人民ノ好ム所ニ委セルノデハイカヌ、ドシナ方法デモ構ハズシタナラバ、政府ノ方デハアレハイカヌト止メルニ相違ナイ、又止メナケレバナラヌ、田中君ノ直訴ノ如キハ、吾々ハ感心シナイケレドモ、政府ノ方デ如何ニシテ來レト云ウテ示サヌノハ、甚ダ不親切デアアル、左様ナル缺點ハ、今日ニ於テアルベキ答デナイ、明ニ其途ヲ設ケテ、如何ナル人間ガ請願シヤウトシテモ、直グニ出來ルト云フ方法ヲ立テタイ、サウシテ上下心ヲ一ニシテ、盛ニ經綸ヲヤラナケレバナラヌト云フ、斯ウ云フ考デアリマス

○石田貫之助君(二百十六番) 私ガ今申シタ手續ニ於テ、平岡君ハソレハ獻納品ヲスルトカ、位記ノアル者ガ請願ヲスルトカ、書面ヲ出ストカ云フ如キ場合ノ話デアルト云ハル、ガ、サウデハナイ、其手續ニ依リマスレバ、如何ナル人民ト雖モ我帝國臣民タル以上ハ、男女ヲ問ハズ請願ガ出來ル、是ハ出頭致サヌデモ、郵便デモ請願ガ出來ルノデ、其請願ハ其筋ニ於テ御覧ニ供ヘルト云フコトニナッテ居ル、唯アナタノ御考ト私ノ承知シテ居ル所ガ違ッテ居ルダケヲ申スノデ、併シ其事柄ハ人民一般ニ知ラシメナイ、承知シテ居ラヌカラ、是ハ別段ニ法律トシテ世ニ明ニスルハ別段ノ御意見デアリマスカ、非難スルノデモ何デモナイ、唯其事柄ガアルト云フコトヲ申シテ置キマス

○議長(片岡健吉君) 恆松君ノ特別委員ニ付託シヤウト云フ動議ガ出テ居リマスガ、兩案ヲ一括シテ九名ノ特別委員ヲ議長ガ指名シテ御異議アリマセヌカ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通致シマス、議事日程ハ濟ミマシタガ、御諮リスルコトガアリマス、望月長夫君病氣ノタメ今二十一日ヨリ十日間ノ請暇、西川宇吉君病氣ノタメ今二十一日ヨリ十一日間ノ請暇ヲ願出ラレマシタガ、許可シテ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ナケレバ許可スルコトニ致シマス、報告ガアリマス

議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

鐵道列車災害豫防法案

提出者 菅野善右衛門君

委員ヲ指定スルコト左ノ如シ

市町村會議員及市參事會員ニ關スル法律案

神藤 才一君 北田 豐三郎君

松田 秀雄君 本間 直君

東 良三郎君 三輪 潤太郎君

請願法制定ノ建議案

並河 理二郎君 熊代 慊三郎君

新開 貢君 望月 圭介君

江藤 新作君 竹内 正志君

工業試驗所ニ板硝子製造練習工場設置ニ關スル建議案

根本 正君 津野 常君

瀧口 歸一君 永田 佐次郎君

初見 八郎君 佐々木 政父君

○議長(片岡健吉君) 明後日ノ問題ハ唯今ノ所デハ議スベキモノガゴザイマ

セヌ、明日ノ委員會ノ結了ニ依ッテハ、議事ヲ開クコトニナルカモ知レマセヌ

ガ、其場合ニハイヅレ公報ヲ以テ御通知致シマス、今日ハ是ニテ散會致シマ

午後三時十六分散會